

大学・短大における教職科目
(道徳の指導法)に関する
結果報告書(HP用概要版)

東京学芸大学総合的道徳教育プログラム
第1プロジェクト
藤澤文・永田繁雄

調査背景と問題意識

本プログラムは道徳教育を充実・改善するための施策の一環である。

その背景となるのは・・・

子どもの健全な社会生活を営む能力を育てることの重要性の増加。
学習指導要領の改訂。

道徳教育推進教員の養成・研修プログラムの開発のための基礎的研究を行う必要がある。

調査概要

「**道徳の指導法**」にあたる科目について

調査1 (スライド4-23)
大学での設置状況

調査2 (スライド24-43)
教員の講義実態

調査3 (スライド44-56)
講義担当教員の意識調査

調査1：

「**道徳の指導法**」にあたる科目の 大学における設置状況について

目的

当該科目の大学における設置状況を明らかにする。

方法

調査対象

小・中学校の教職課程のある大学リストに従った、648大学の教職課程担当者。

調査手続き

- ・ 大学教務課に教務調査票を発送。
- ・ 送付物：挨拶状、教務調査票（A3, 1枚）、返送用切手付き封筒、宛名シール。
- ・ 教務調査票とシラバスの返送を依頼。

調査内容

回答大学に関する調査項目

- ・ 属性
- ・ 大学種
- ・ 課程認定を受けている免許状（小・中学校）
- ・ 主免許状にかかる教育実習の時期
（小・中学校 / 四年制大学・短期大学）

当該科目に関する調査項目

- ・ シラバス公開の有無
- ・ 科目名
- ・ 専任教員の有無
- ・ 講座組織の有無
- ・ 免許状別の科目設置の有無
- ・ 「道徳」関連科目の設置の有無
- ・ 開講学年（小・中学校 / 四年制大学・短期大学）
- ・ 単位認定数
- ・ 担当教員数
- ・ 授業回数
- ・ クラス数
- ・ 1クラスあたりの受講者数

Table1 : 学校種別の調査票回収率（教務）

	大学数	返却大学数	回収率
国立四年制	75	54	72.00%
公立四年制	39	20	51.28%
公立短期大学	7	5	71.43%
私立四年制	415	241	58.07%
私立短期大学	112	49	43.75%
合計	648	369	56.94%

結果

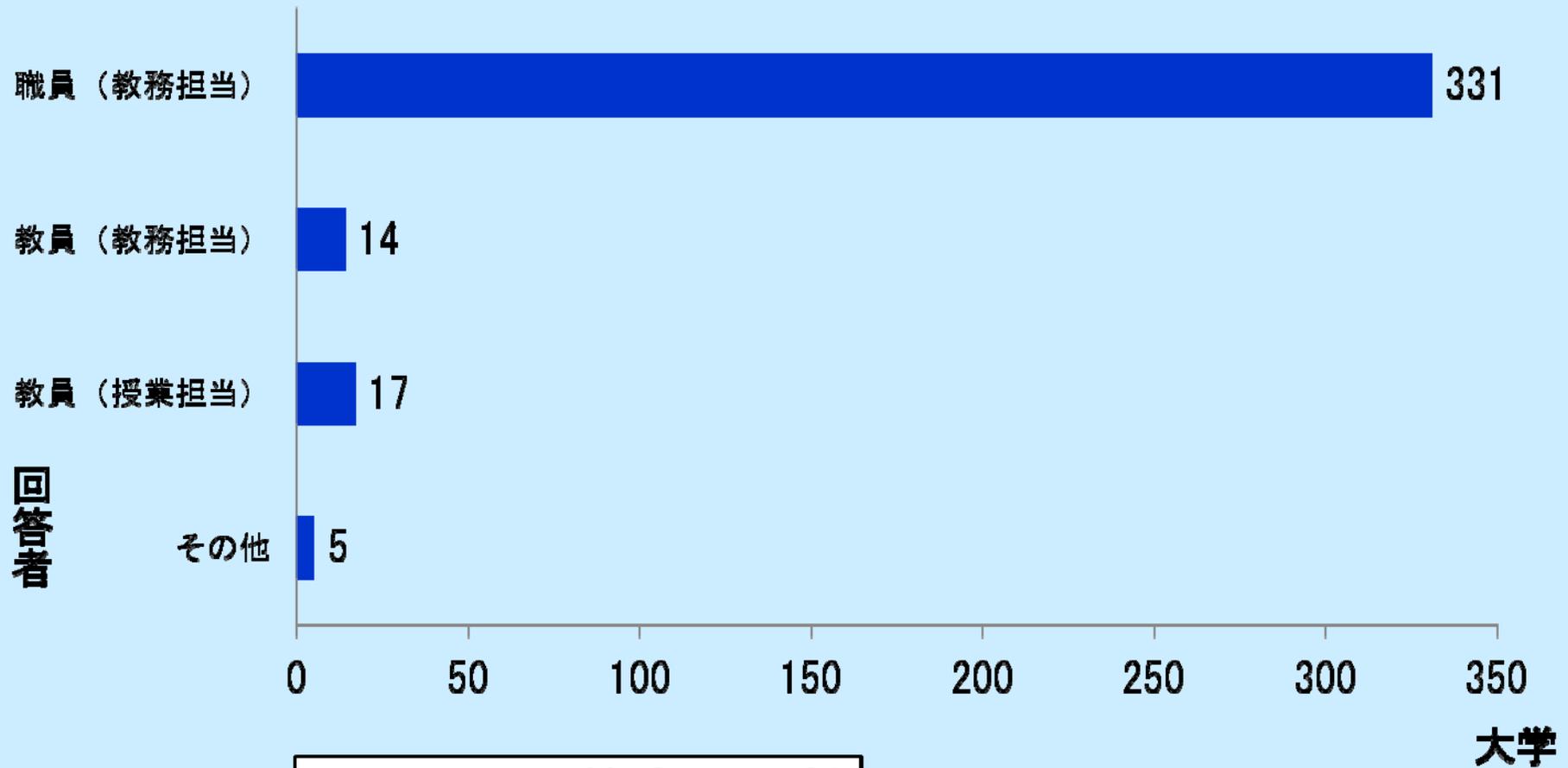


Figure1: 回答者の属性

教育実習の時期 小学校課程

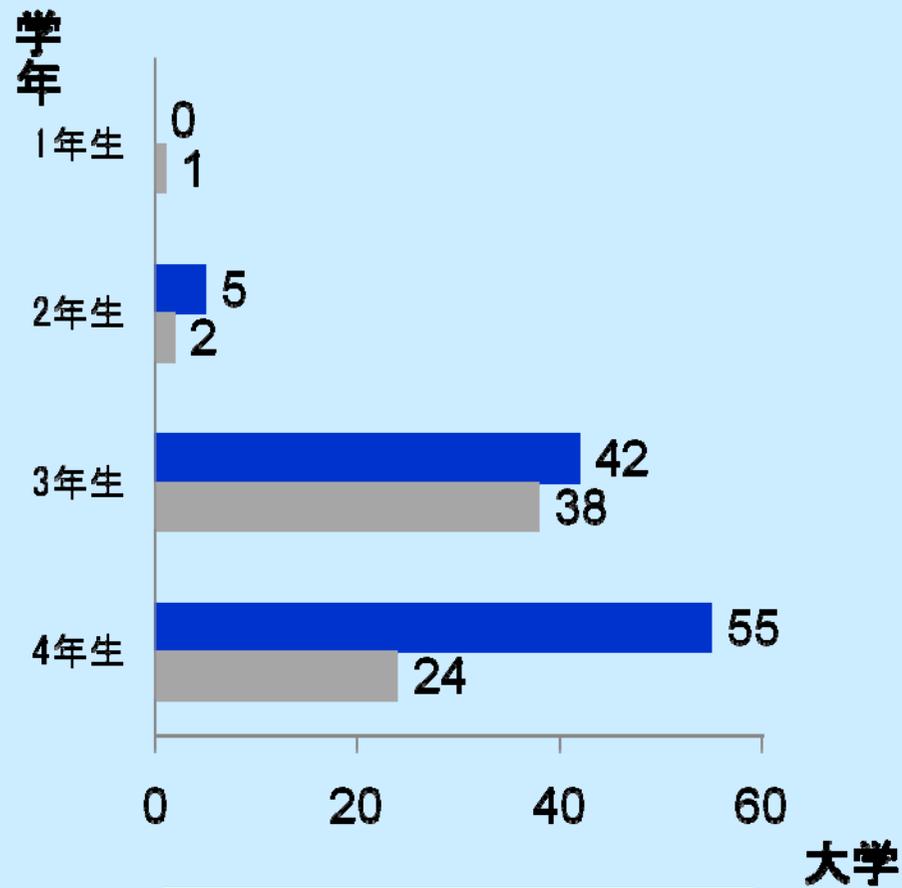


Figure2: 四年制大学

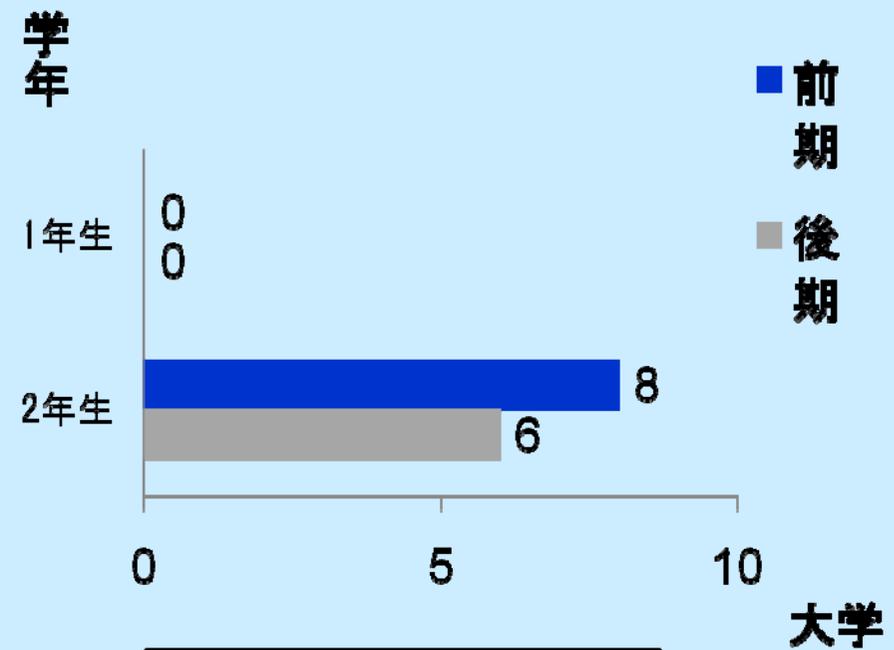


Figure3: 短期大学

教育実習の時期 中学校課程

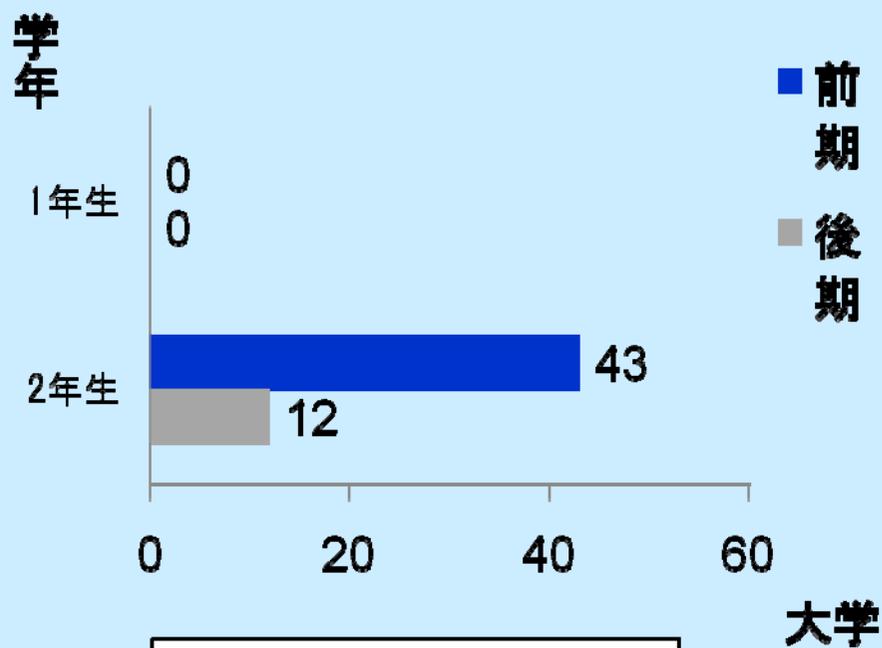
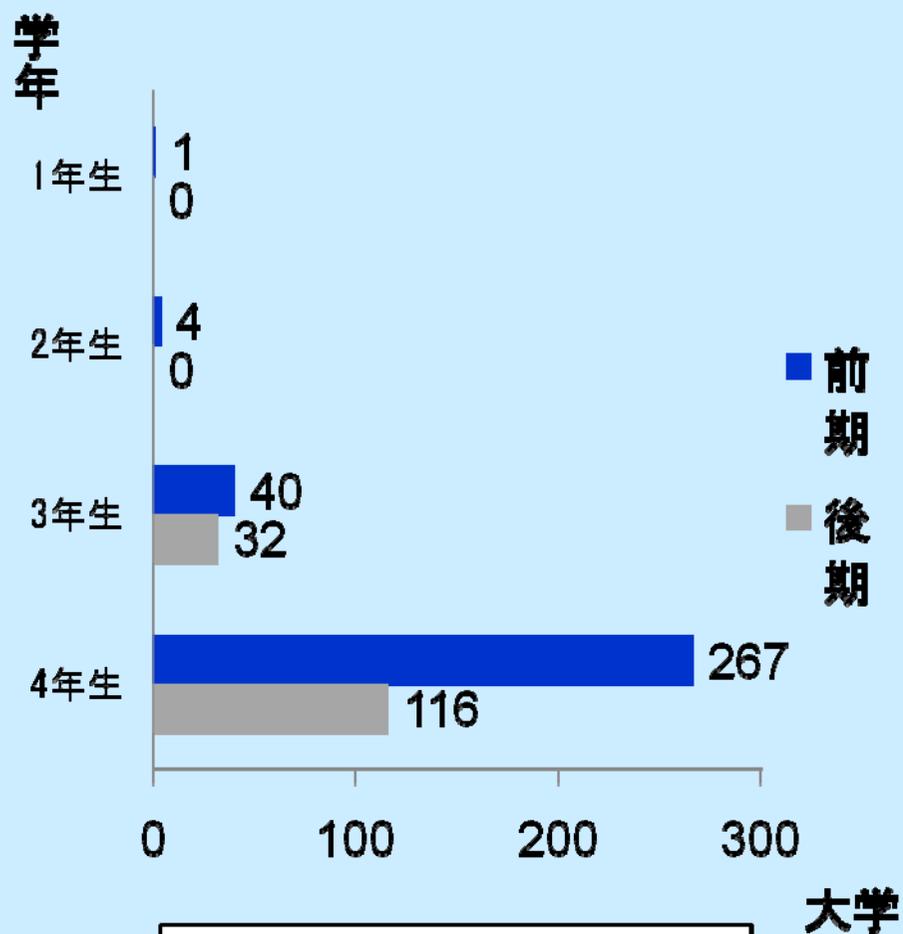


Figure4: 四年制大学

Figure5: 短期大学

シラバス公開

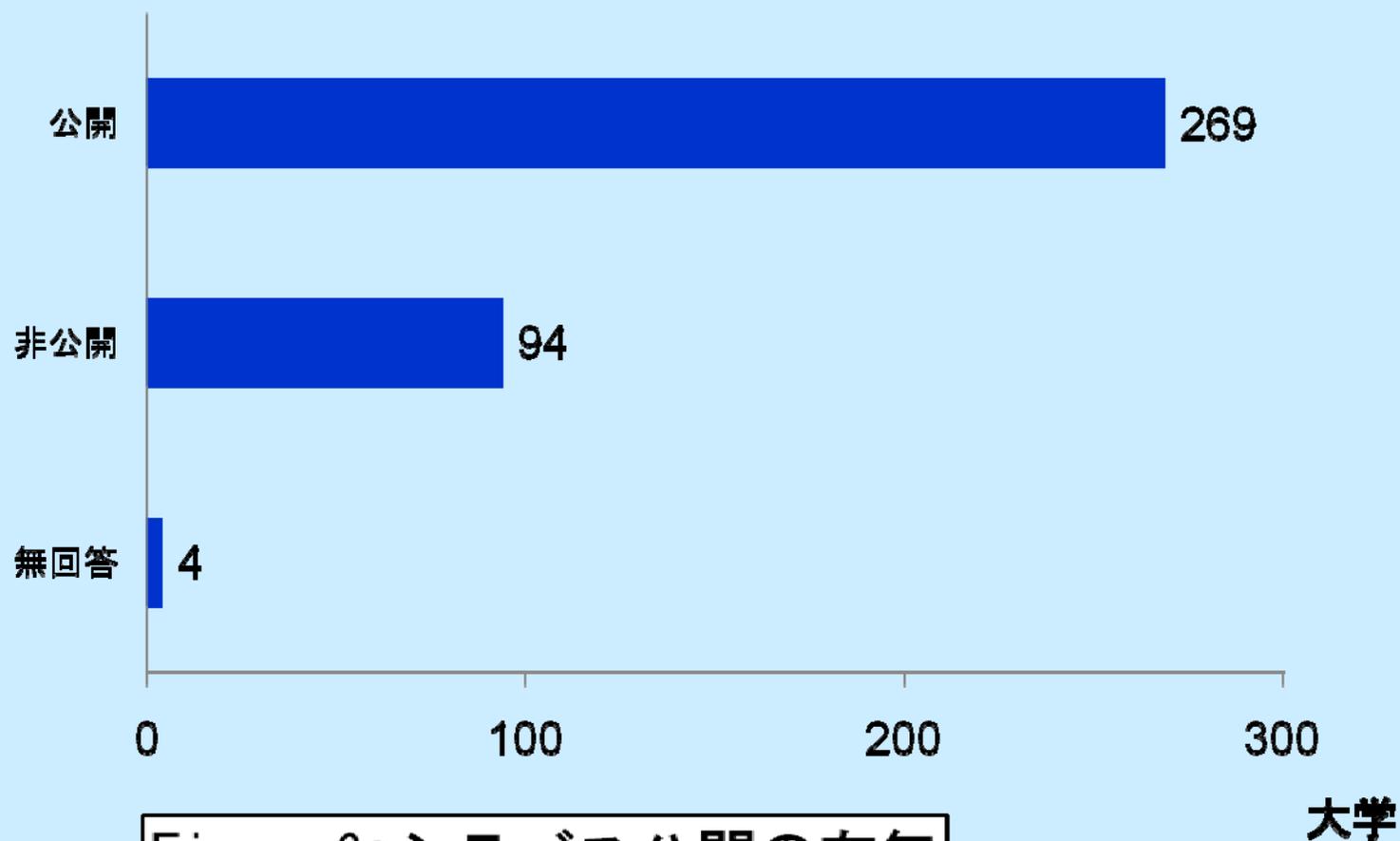


Figure6: シラバス公開の有無

Table2 : 科目名 ($n = 360$)

科目名	大学数
・ 道德教育の研究	188
・ 道德教育論	62
・ 道德教育研究	22
・ 道德教育	20
・ 道德の指導法	14
・ 道德指導法	10
・ 道德教育指導法	9
・ 道德教育指導論	9
・ 道德教育の指導法	8
・ 道德教育の理論と実践	7
・ 道德教育の理論と方法	6
・ 道德指導論	3

注) $n = 1$ の科目名は省略している。

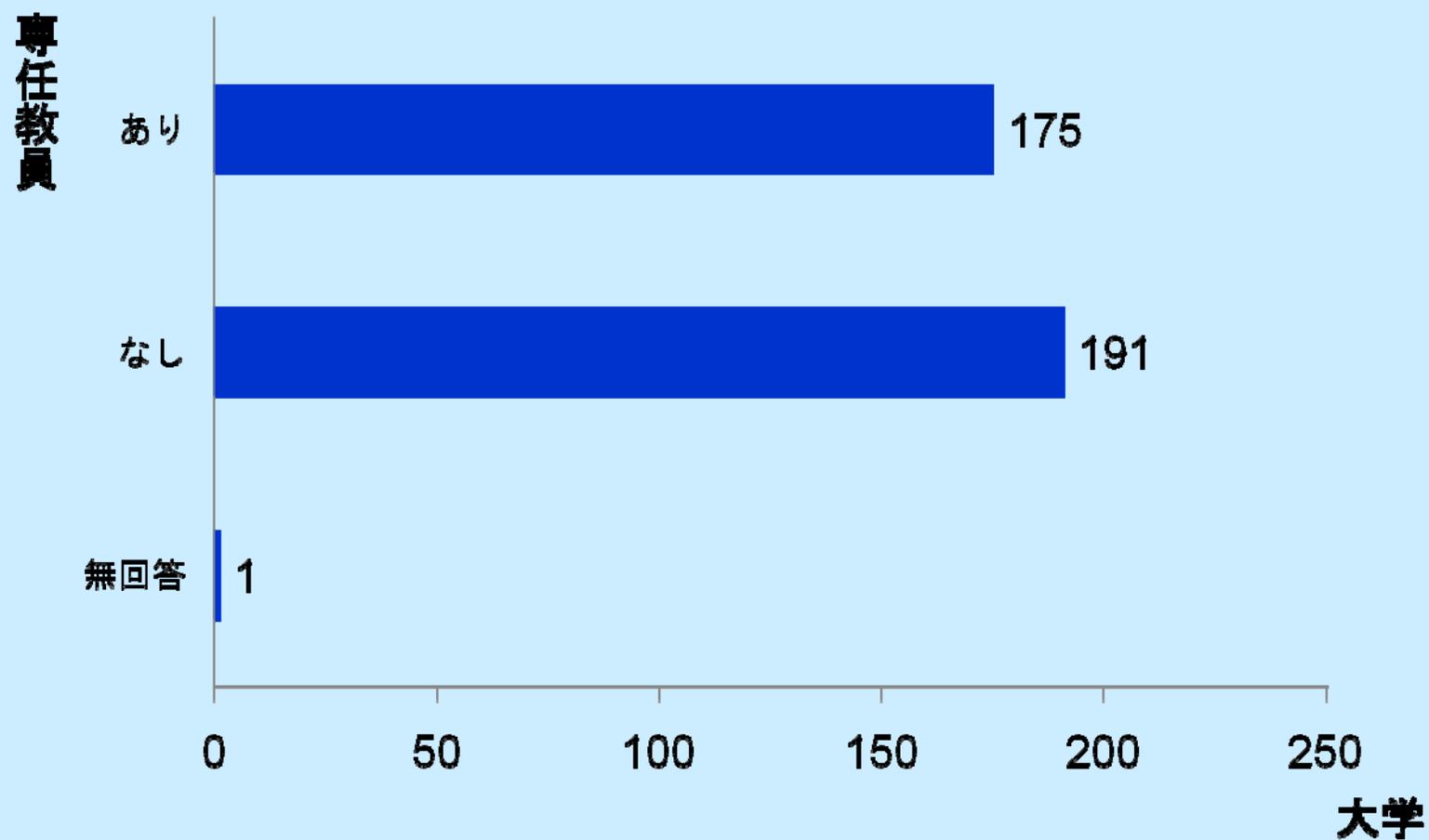


Figure7: 専任教員の有無

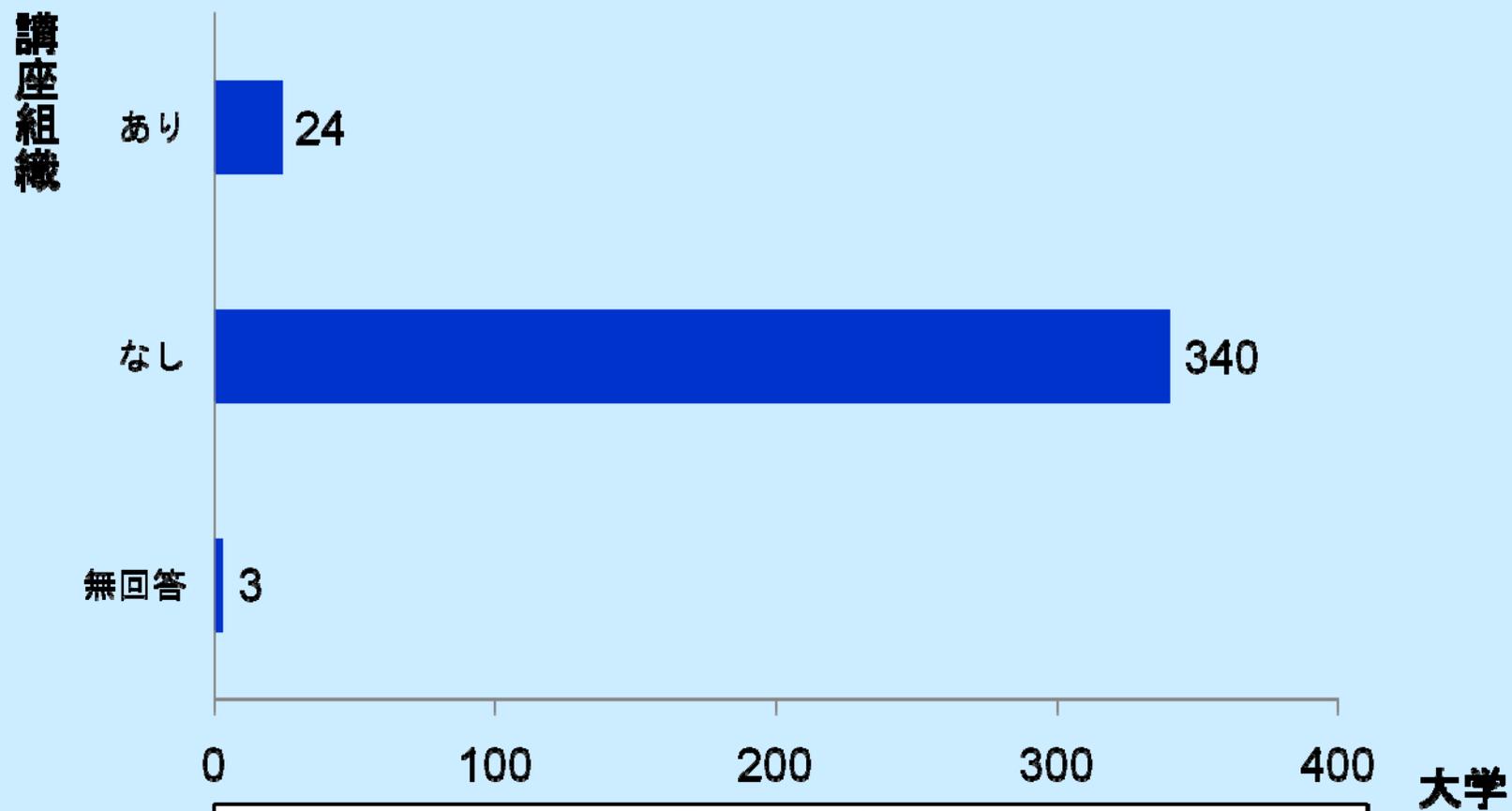


Figure 8:
「道德教育」を専門とする講座組織の有無

免許状別の科目設置

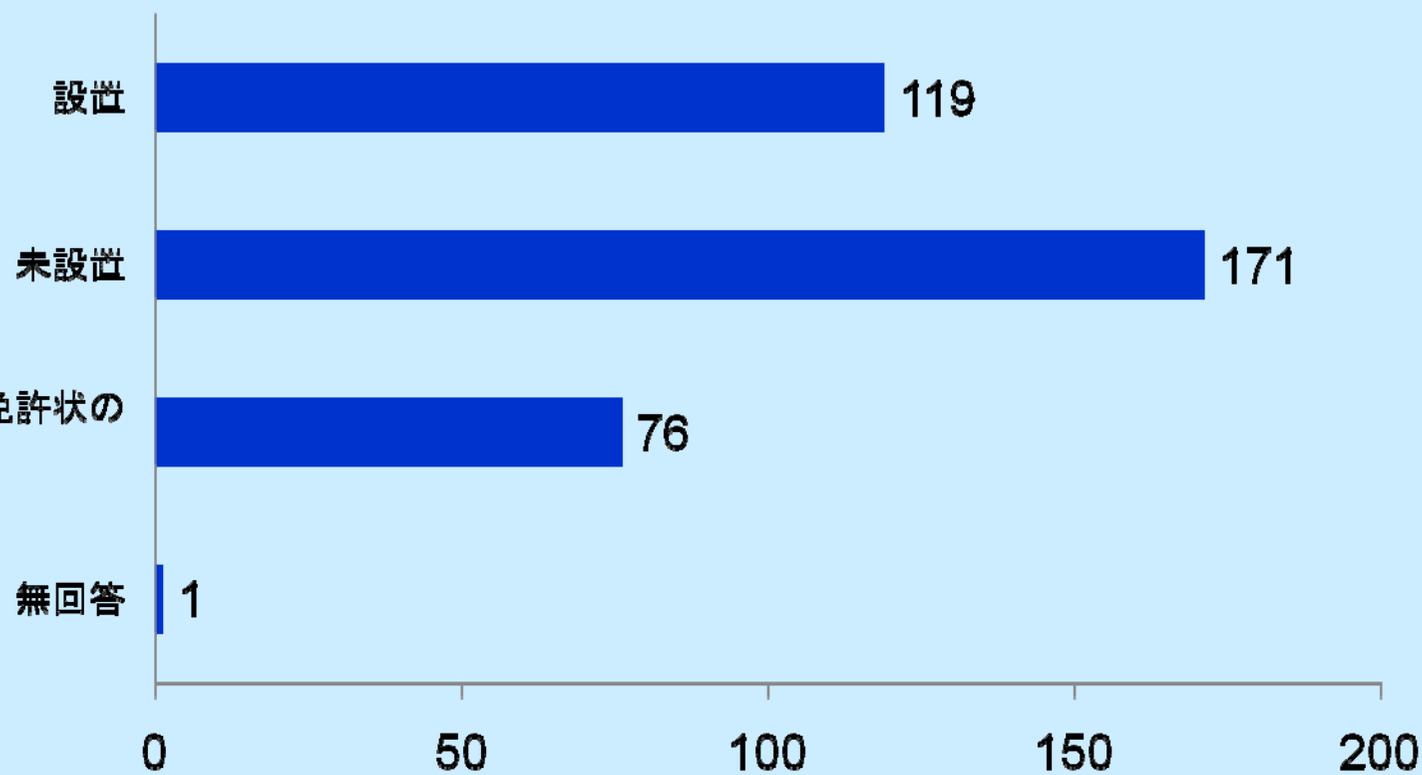
小学校または中学校免許状の
片方のみ設置

Figure9:
小中学校の免許状別の科目設置の有無

大学

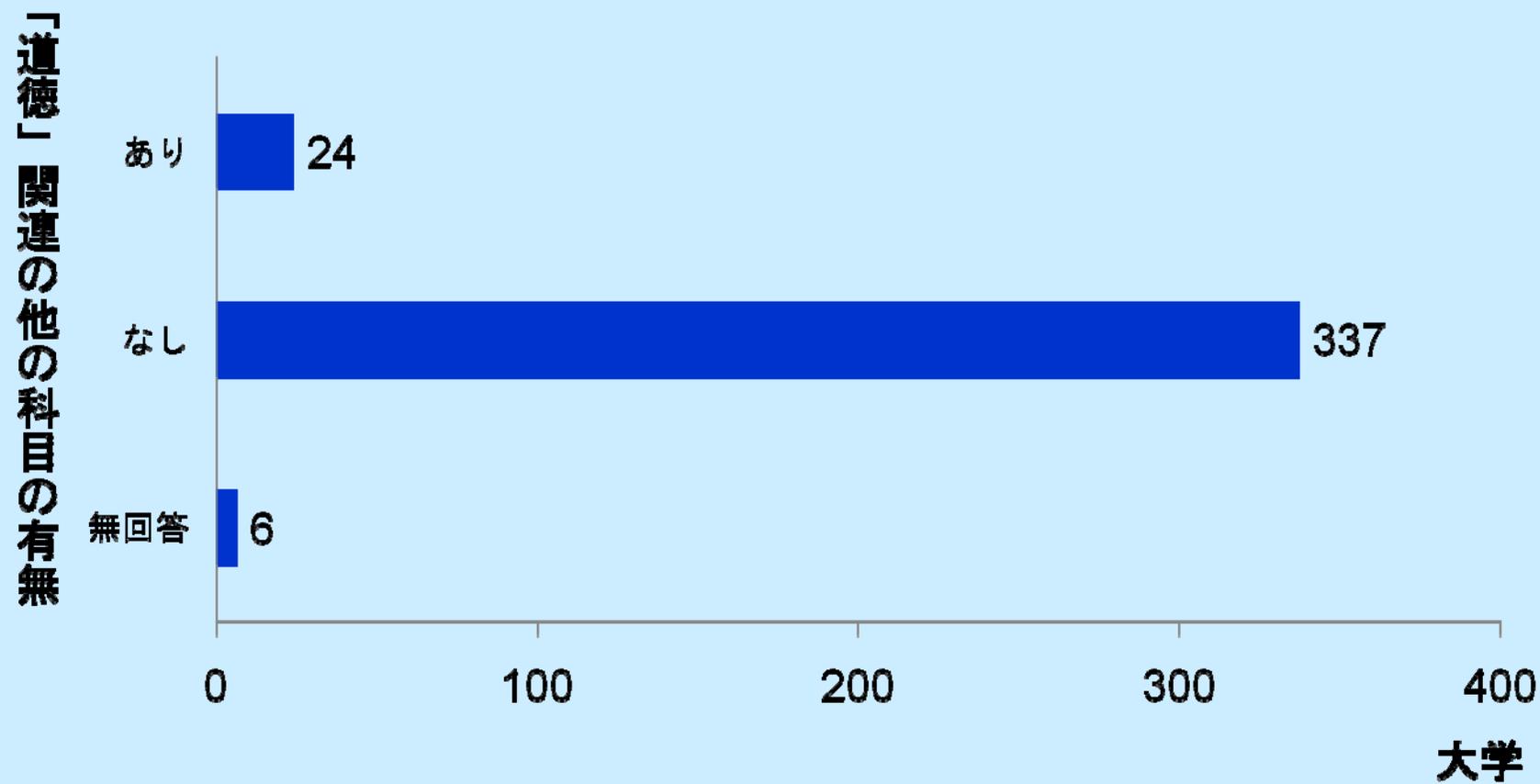


Figure10: 「道徳」関連の他の科目の有無

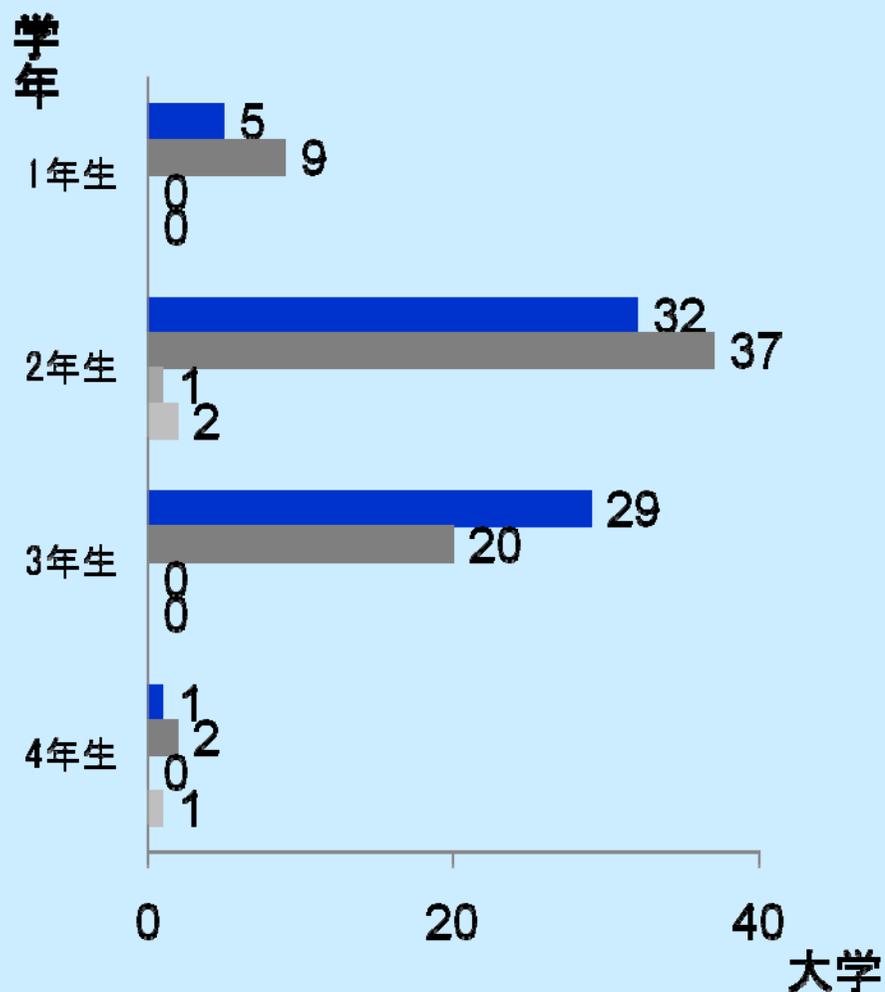


Figure11: 四年制大学

当該科目の開講学期・
対象学年（小学校課程）

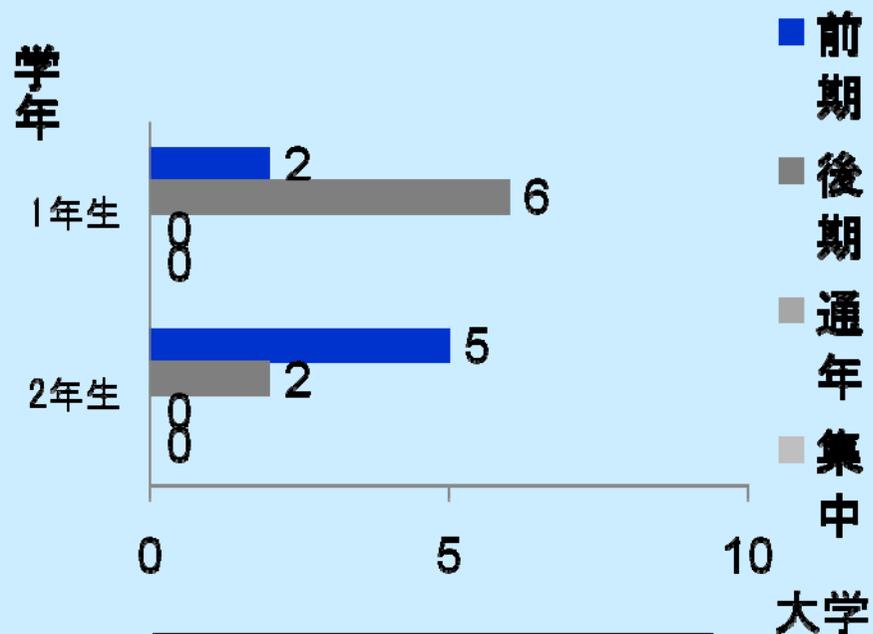


Figure12: 短期大学

当該科目の開講学期・ 対象学年（中学校課程）

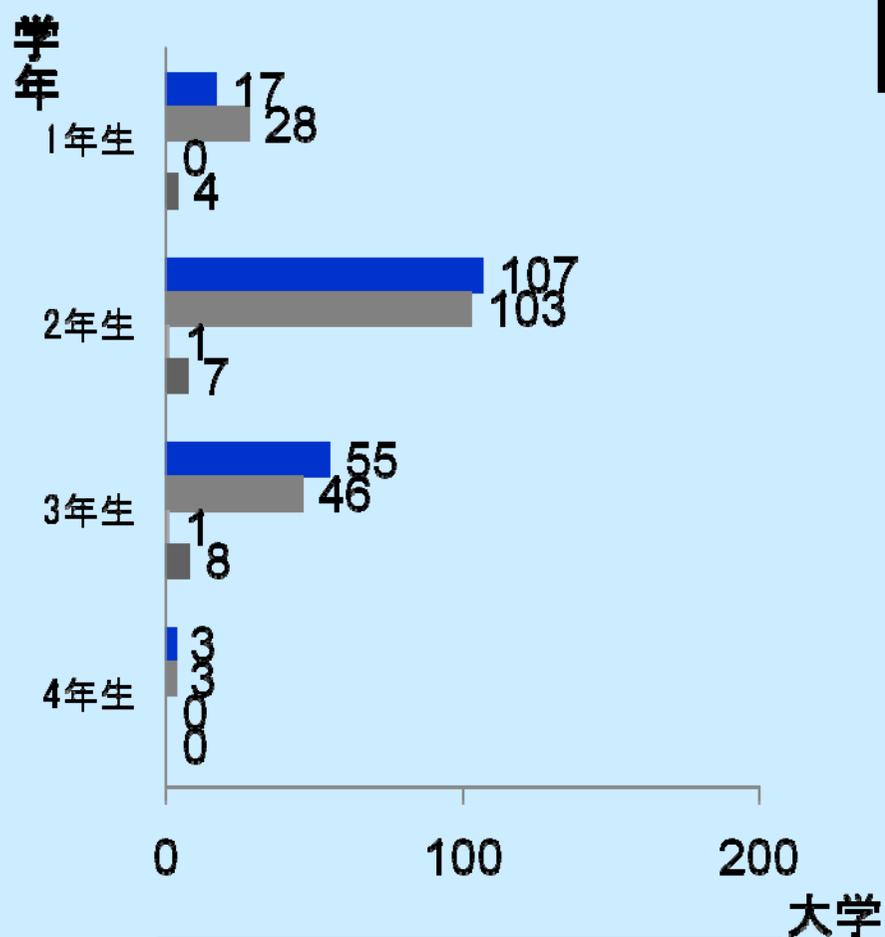


Figure13: 四年制大学

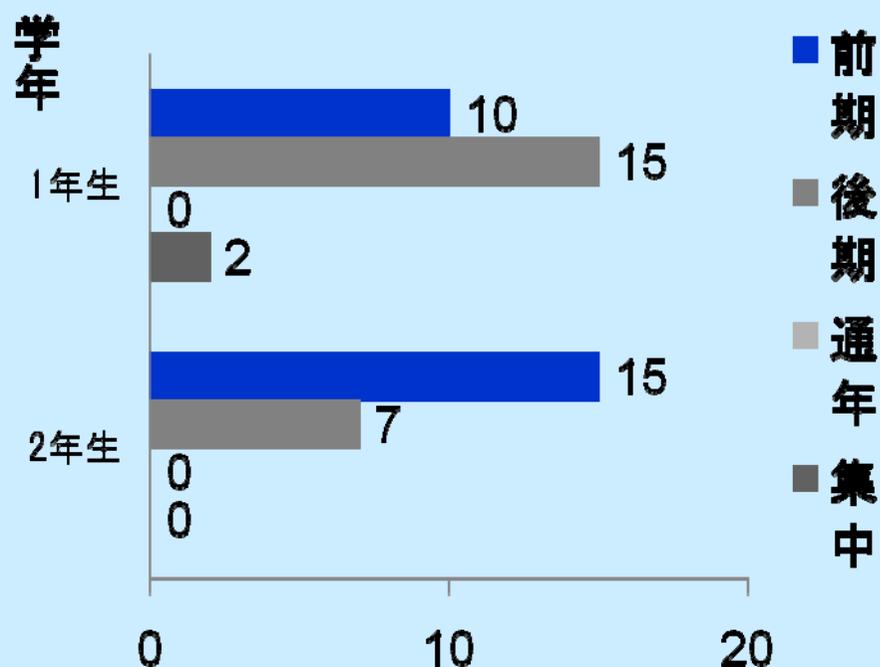


Figure14: 短期大学

大学

常勤教員数

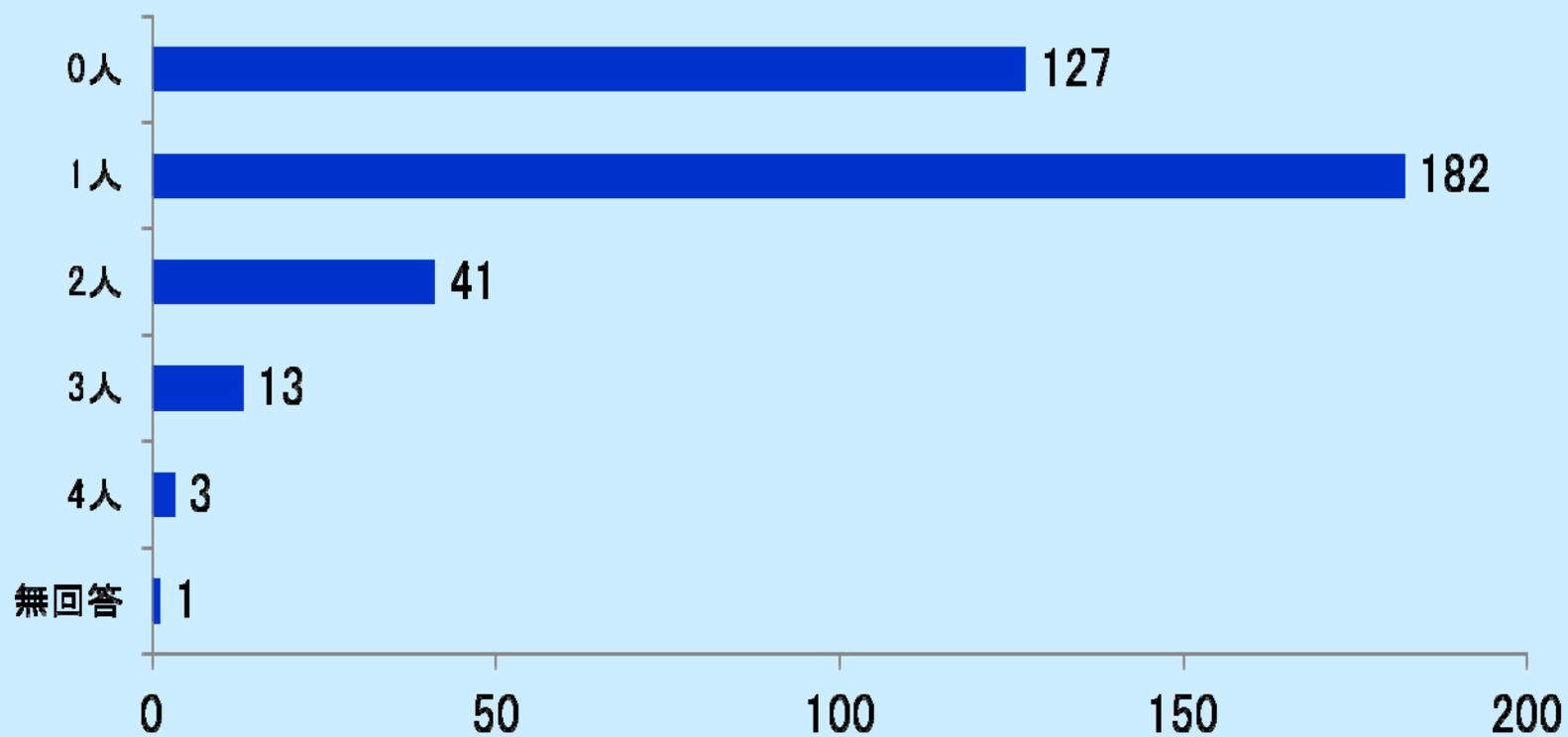


Figure15 : 当該科目の担当教員数（常勤教員数）

大学

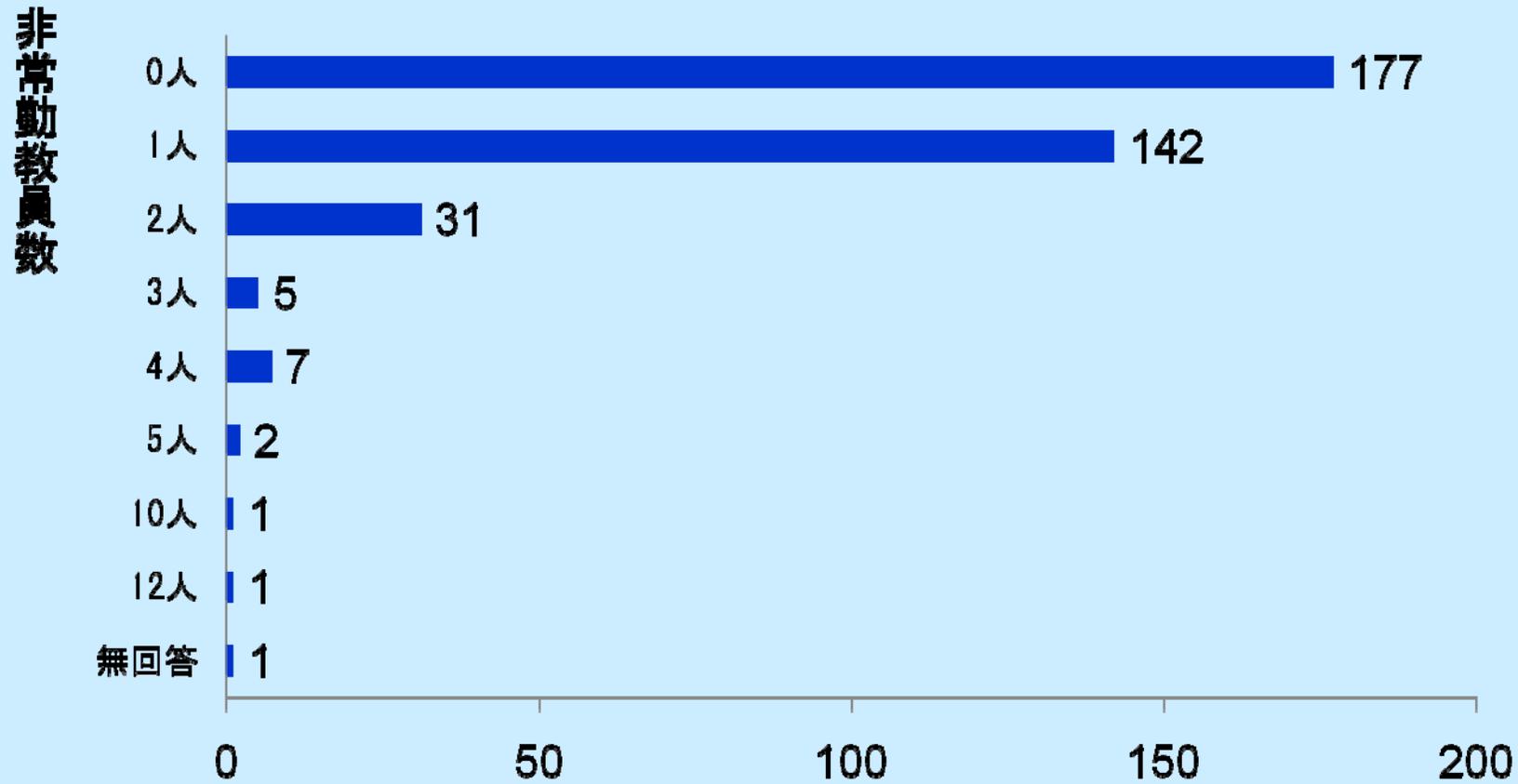


Figure16: 当該科目の担当教員数(非常勤教員数)人

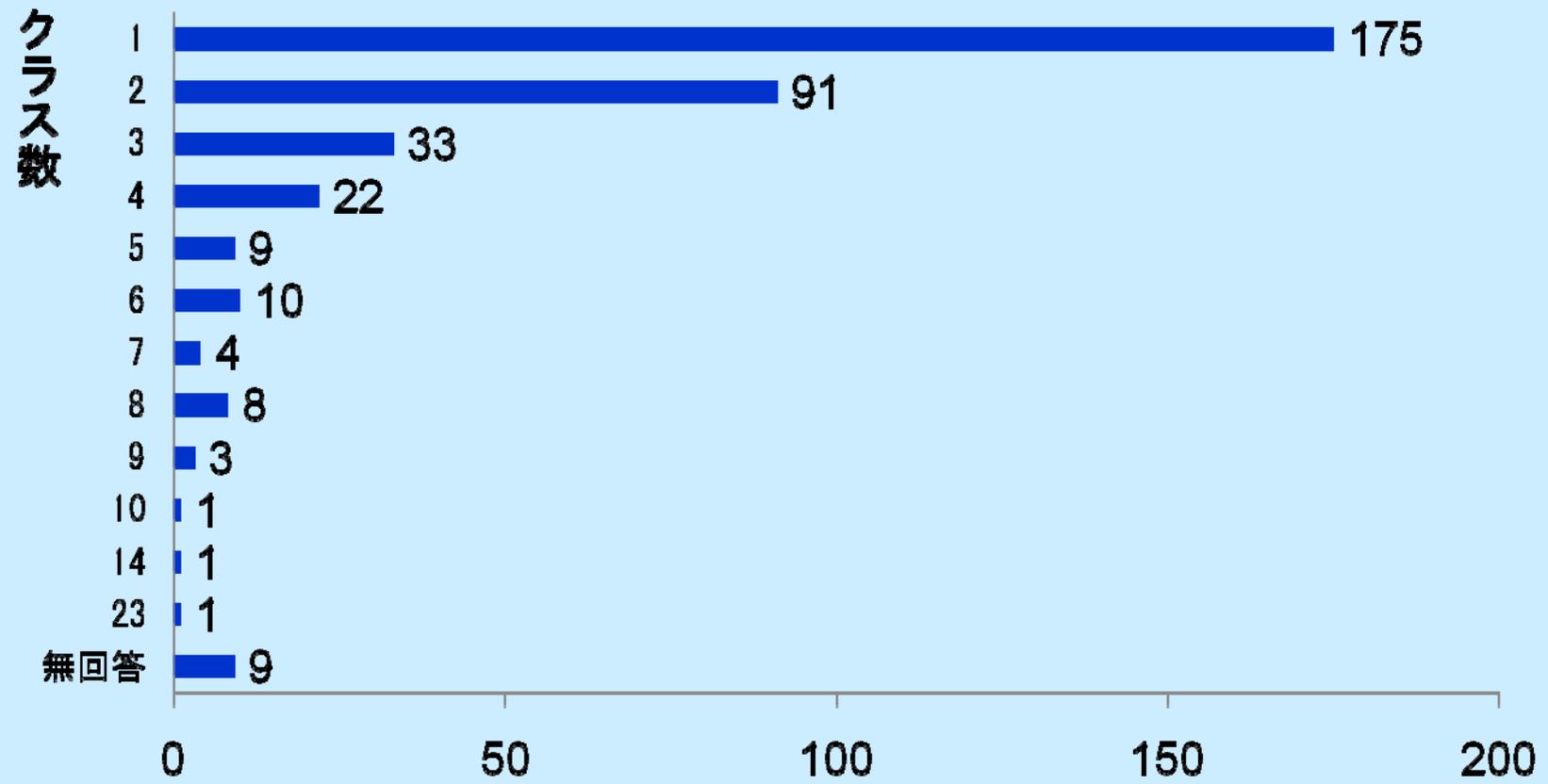


Figure17: 当該科目のクラス数

大学

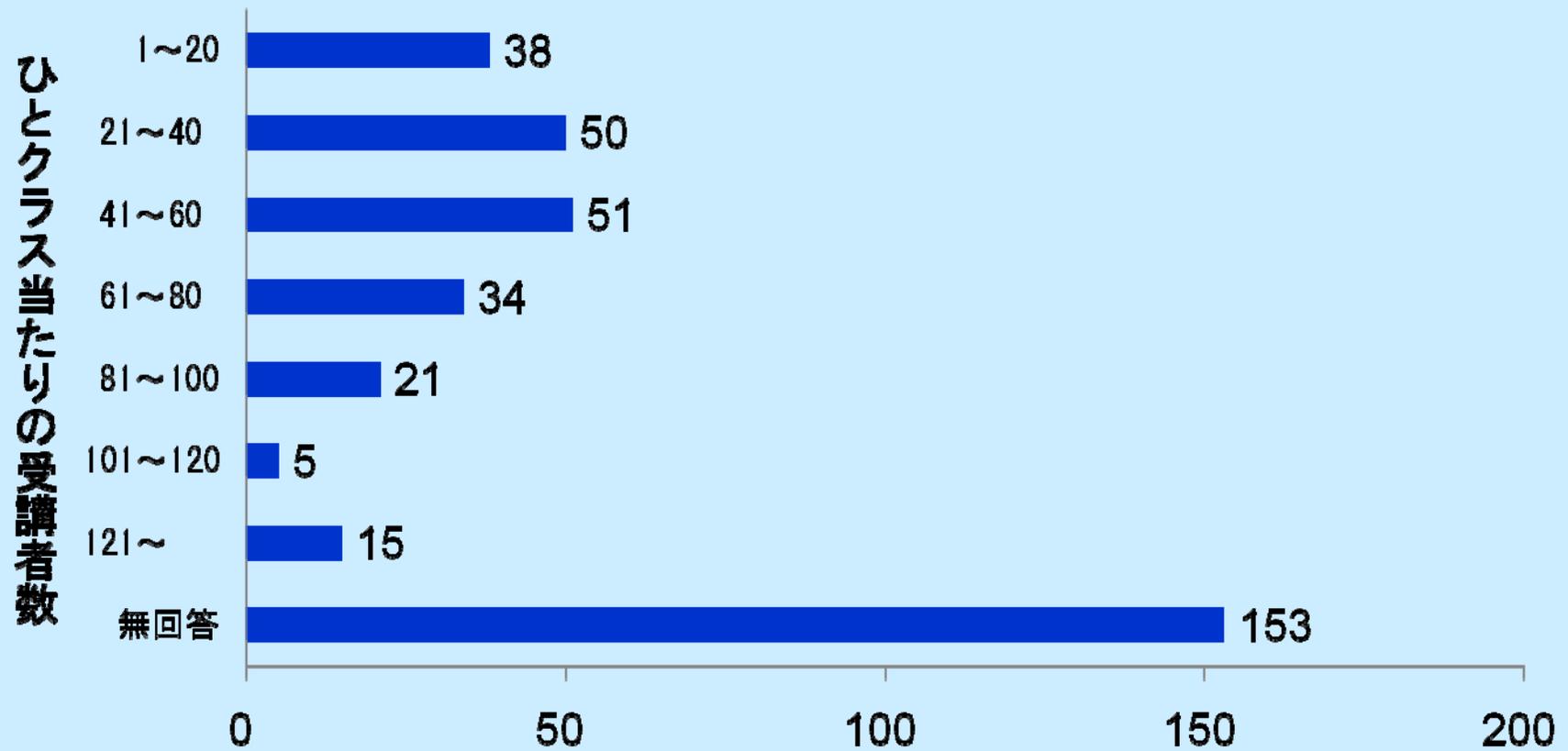


Figure18: 当該科目の一クラスあたりの受講者数 大学

調査2： 教員を対象とした「道徳の指導法」 に当たる科目の講義実態について

目的

当該科目の講義実施状況について明らかにする。

方法

調査対象

小・中学校の教職課程のある大学リストに従った、
648大学の**当該科目担当教員**。

調査手続き

- 大学教務課宛に教員調査票を発送。
- 送付物：挨拶状、教員調査票（A3, 1枚）、返送用切手付き封筒、宛名シール。
- **教員への配布を依頼。**
- **教員調査票、シラバス、教材等の返送を依頼。**

調査内容

調査協力者に関する調査項目

- ・ 属性
- ・ 性別
- ・ 年齢層
- ・ 専門分野
- ・ 小・中学校での教職経験の有無

当該科目に関する調査項目

- 対象とする課程
- テキスト
- 教材
- 授業形態
- 成績の評価方法
- 都道府県または区市町村教育委員会との連携
- 講義中に触れた内容
- 今後講義中に触れたい内容

道徳の授業内容（20項目について）

- ・ 講義中に触れた内容
- ・ 今後講義中に触れたい内容

道徳の授業内容（20項目）

意義、目標、内容項目、全体・年間指導計画

学習指導案、指導理論、道徳資料論、心のノート

各教科における道徳、特別活動・体験活動

人権教育、生徒指導と道徳教育、家庭・地域との連携

評価哲学・倫理思想、道徳性心理学、道徳性の発達

戦前・戦後の道徳教育の歴史、外国の道徳教育

コード化；専門分野

- ・ 教育関係（思想・史）；教育学を含む
- ・ 教育関係（方法）
- ・ 教育関係（教育制度・行政）
- ・ 心理関係
- ・ 教職課程関係（実務）
- ・ 道徳教育
- ・ その他の専門（社会科学）
- ・ そのほか（土木、美術、法学など）

専門性を複数挙げている場合

最初に挙げているもの = 専門分野

Table1：学校種別の調査票回収率（教員）

	大学数	返却 大学数	述べ 返却人数	回収率 (返却大学/大学)
国立四年制	75	45	67	60.00%
公立四年制	39	15	17	38.46%
公立短期大学	7	5	5	71.43%
私立四年制	415	194	236	46.75%
私立短期大学	112	40	41	35.71%
合計	648	299	366	46.14%

結果

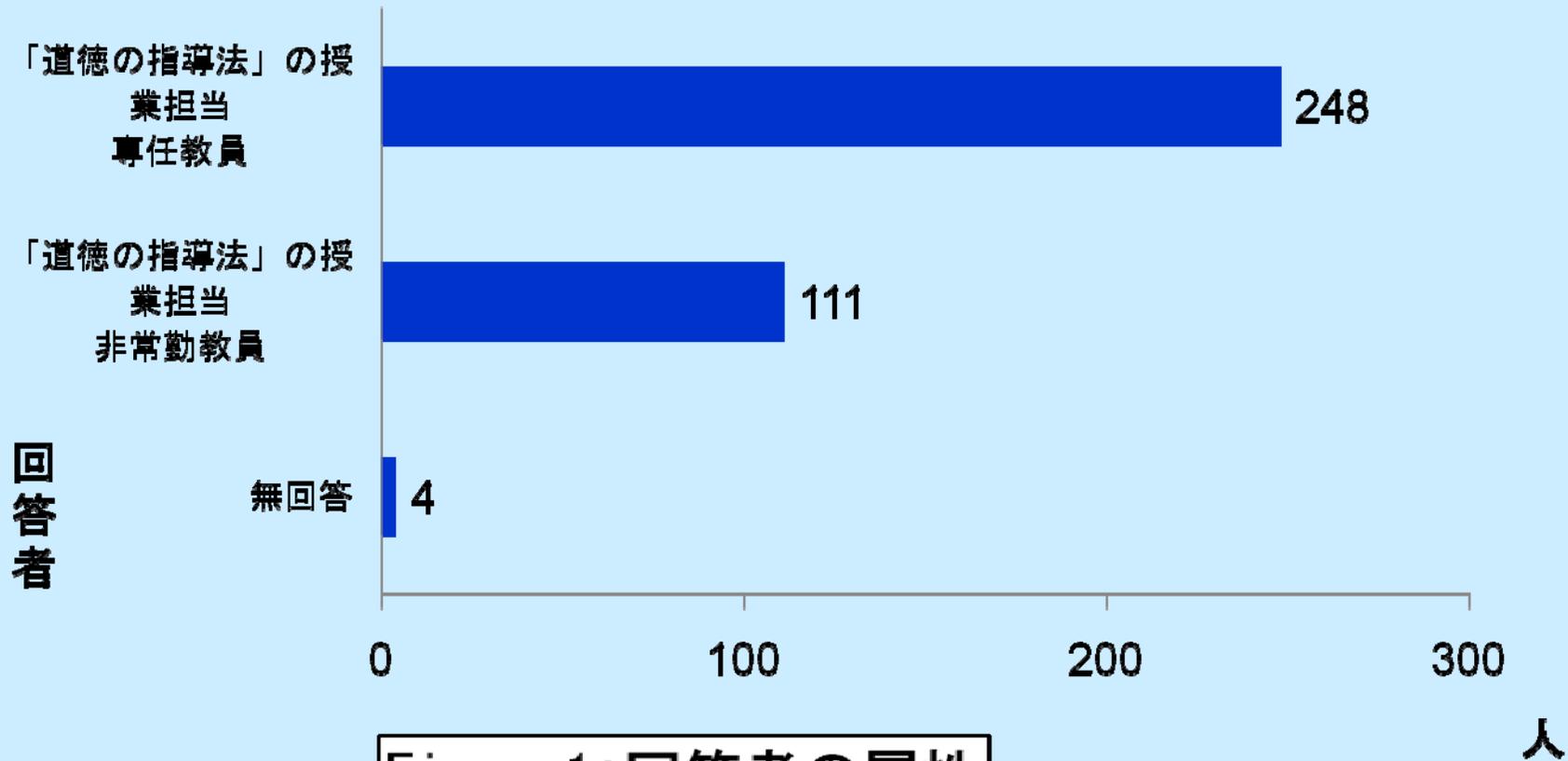


Figure1:回答者の属性

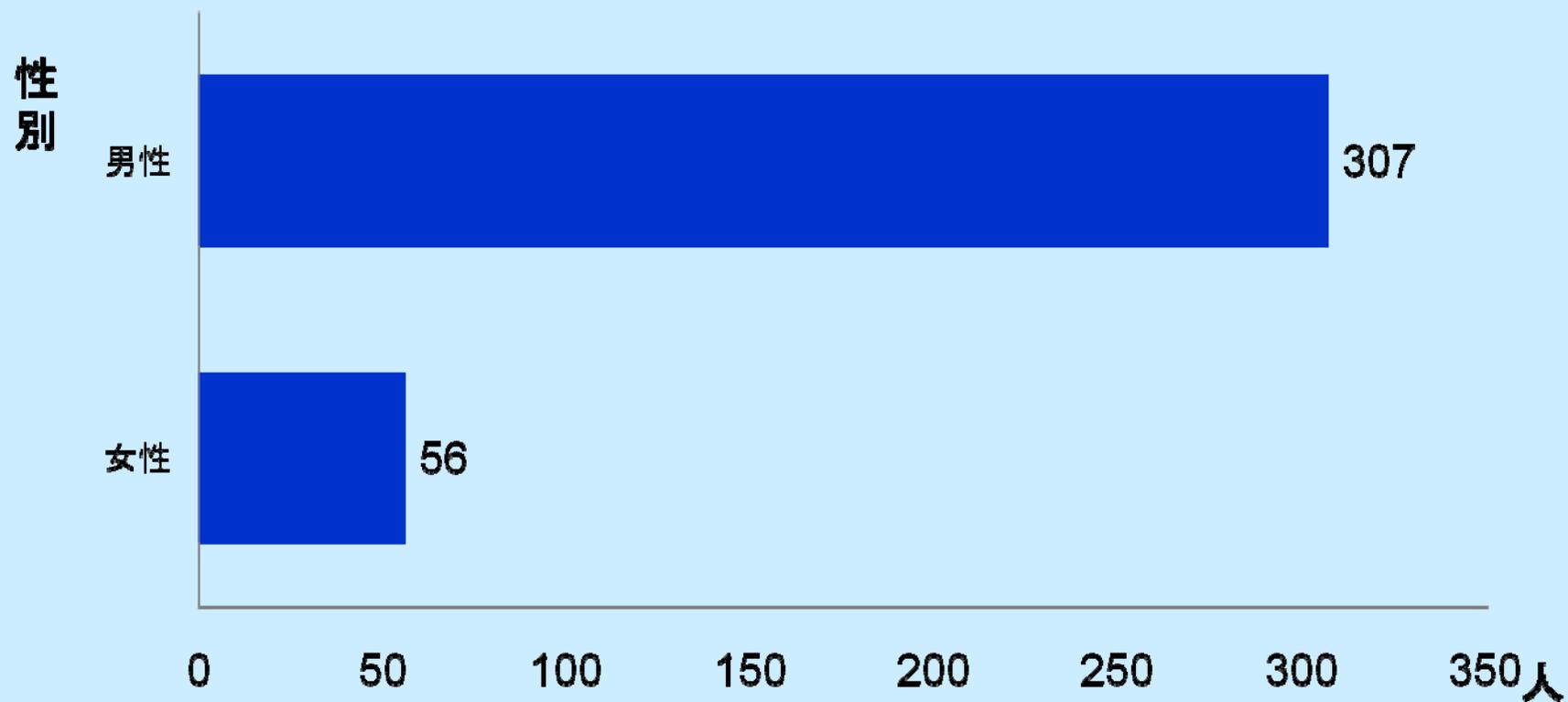


Figure2 : 講義者の性別

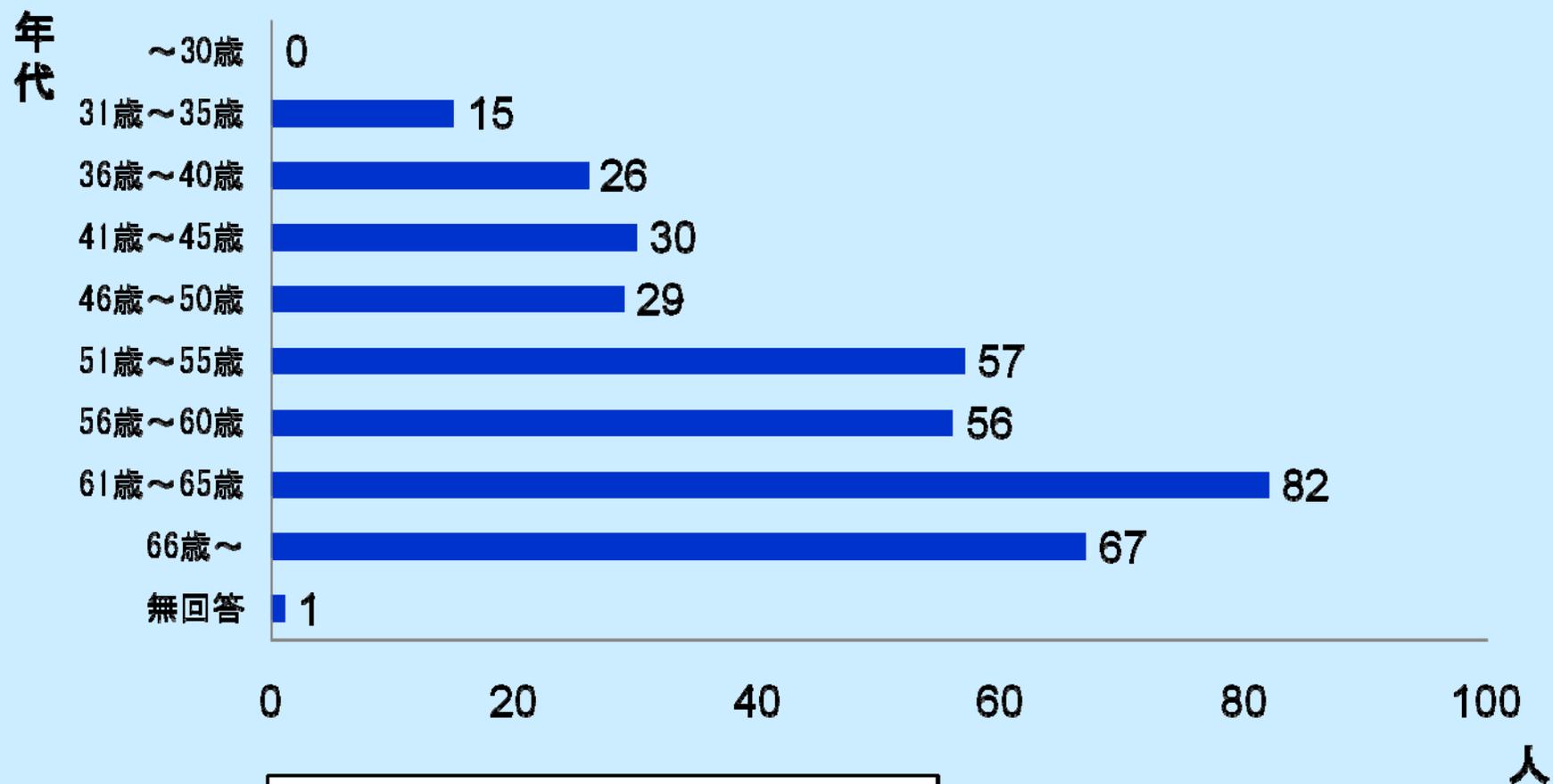


Figure3 : 講義者の年齢層

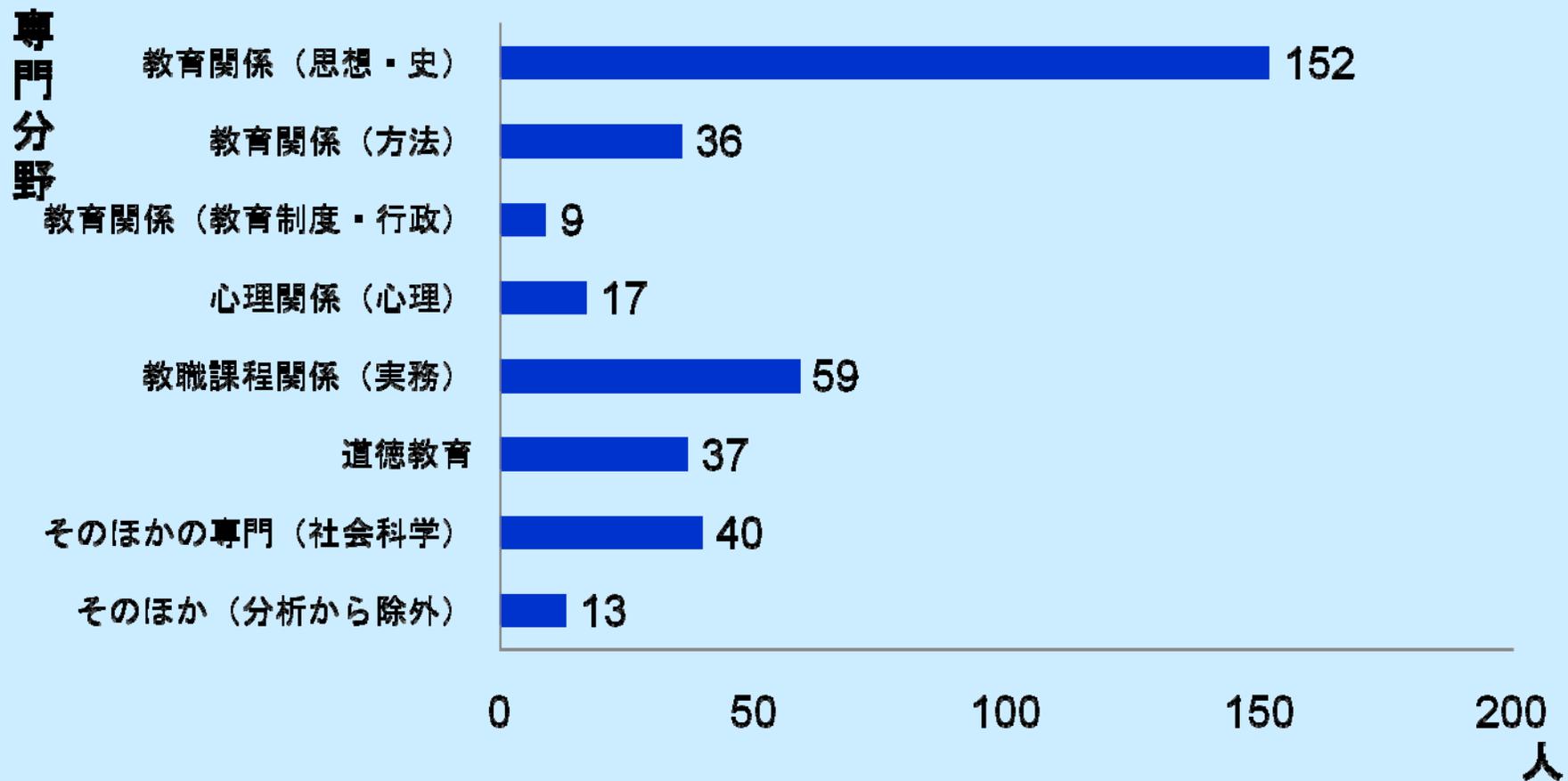


Figure4 : 講義担当者の専門分野

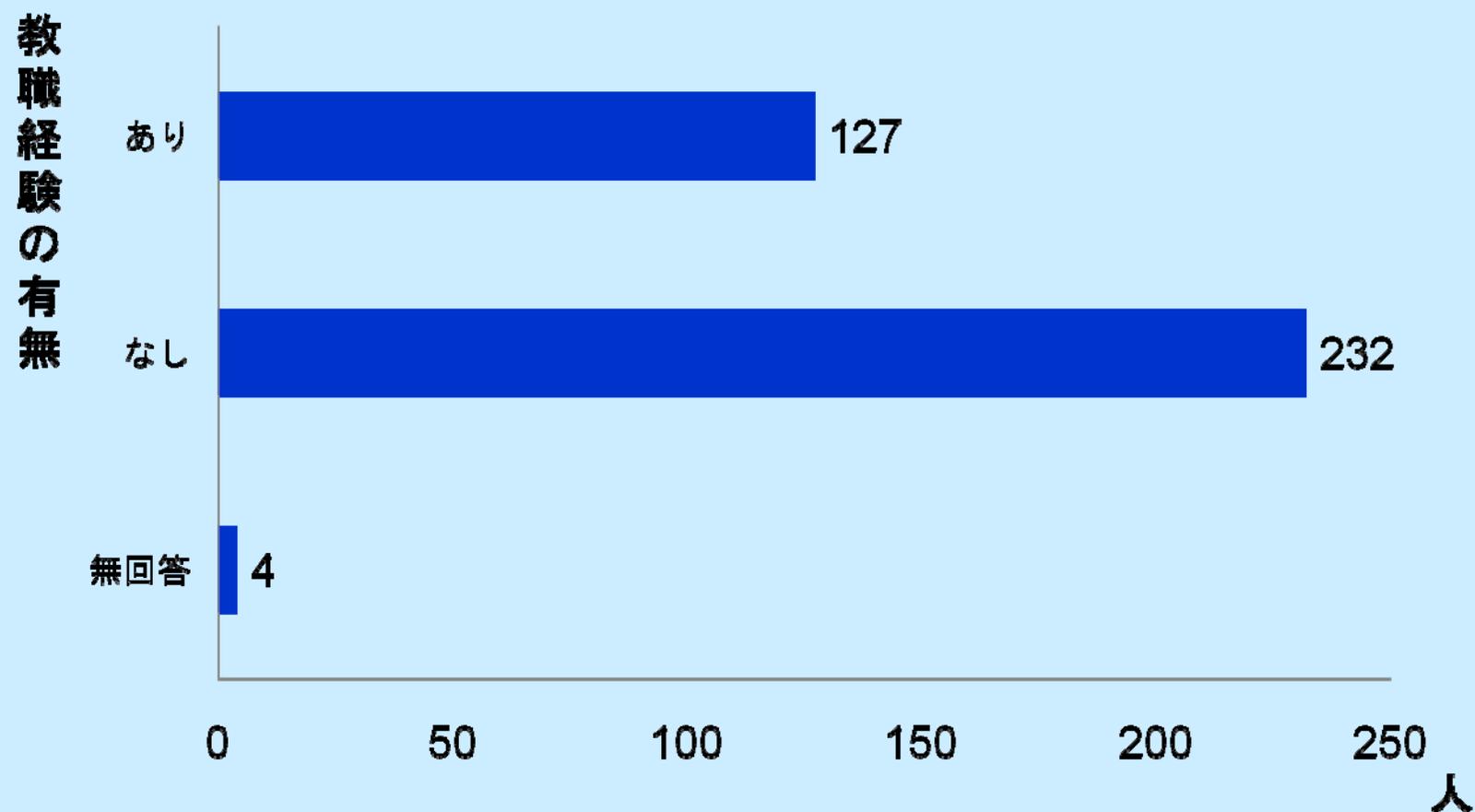


Figure5 : 講義担当者の小・中学校での教職経験

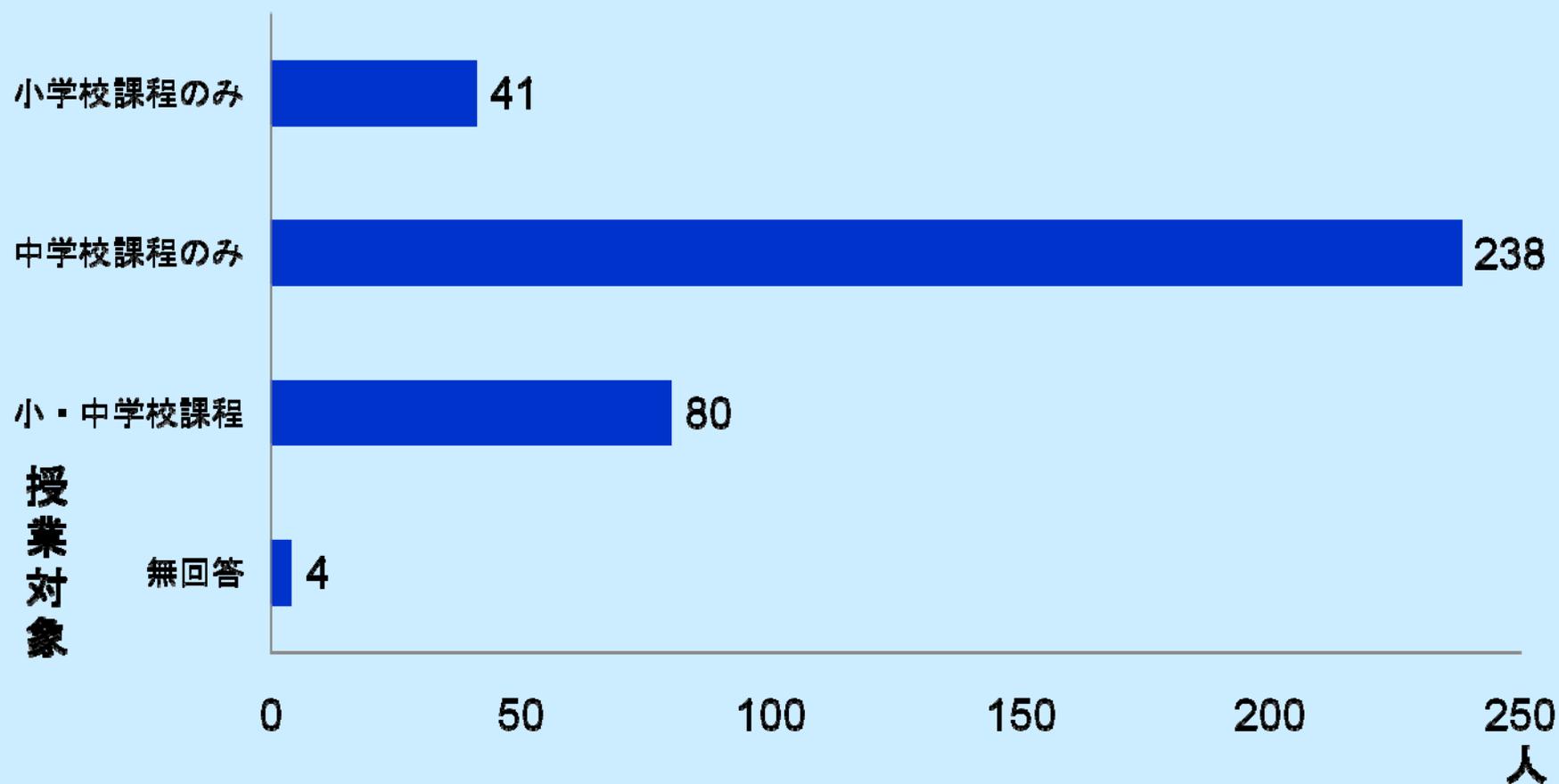


Figure6 : 対象とする課程

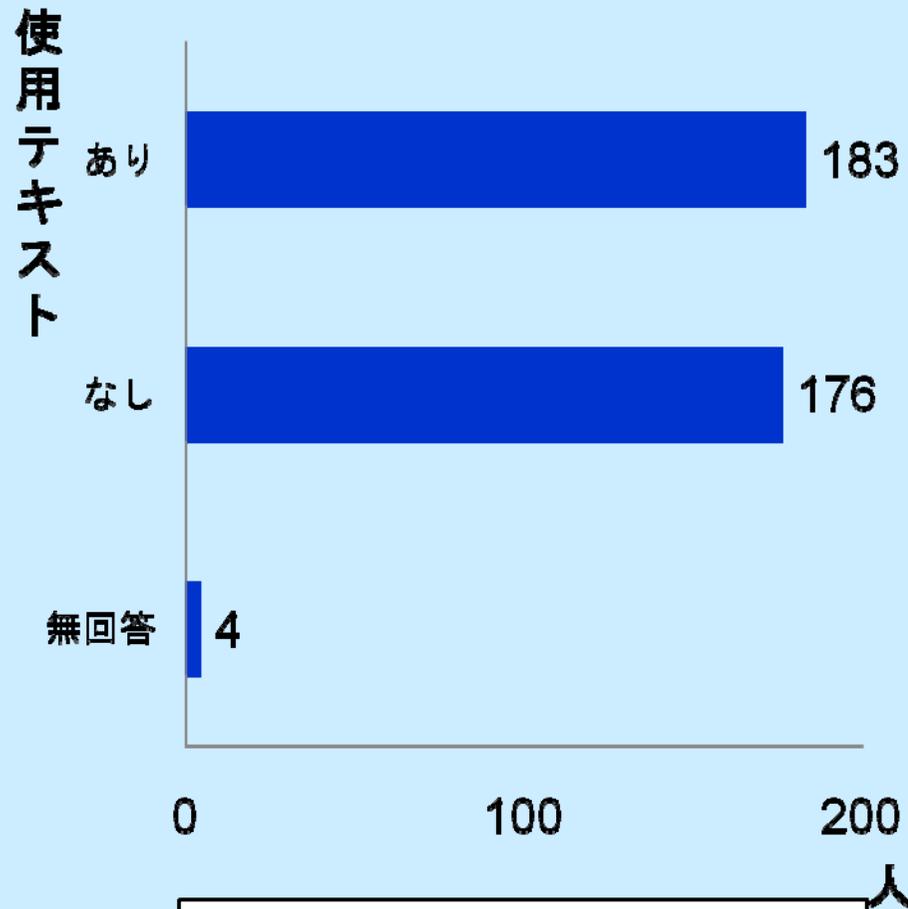


Figure7 : 使用テキスト

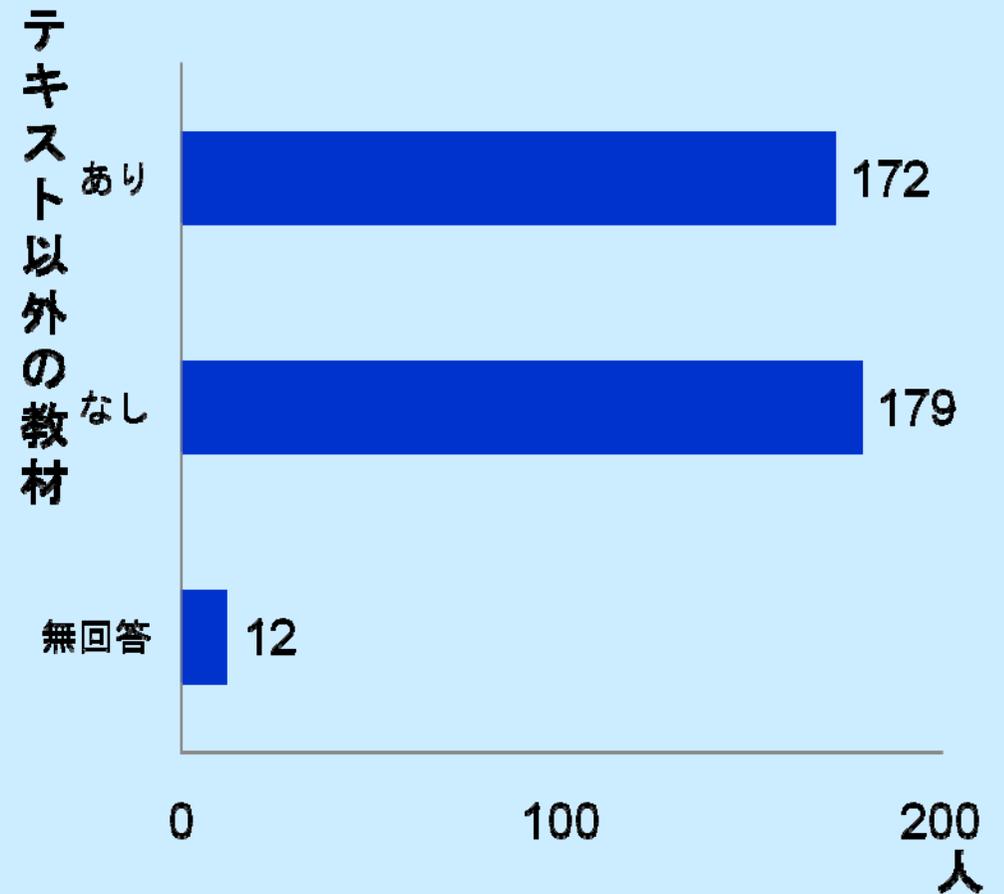


Figure8 : テキスト以外の
主な教材の有無

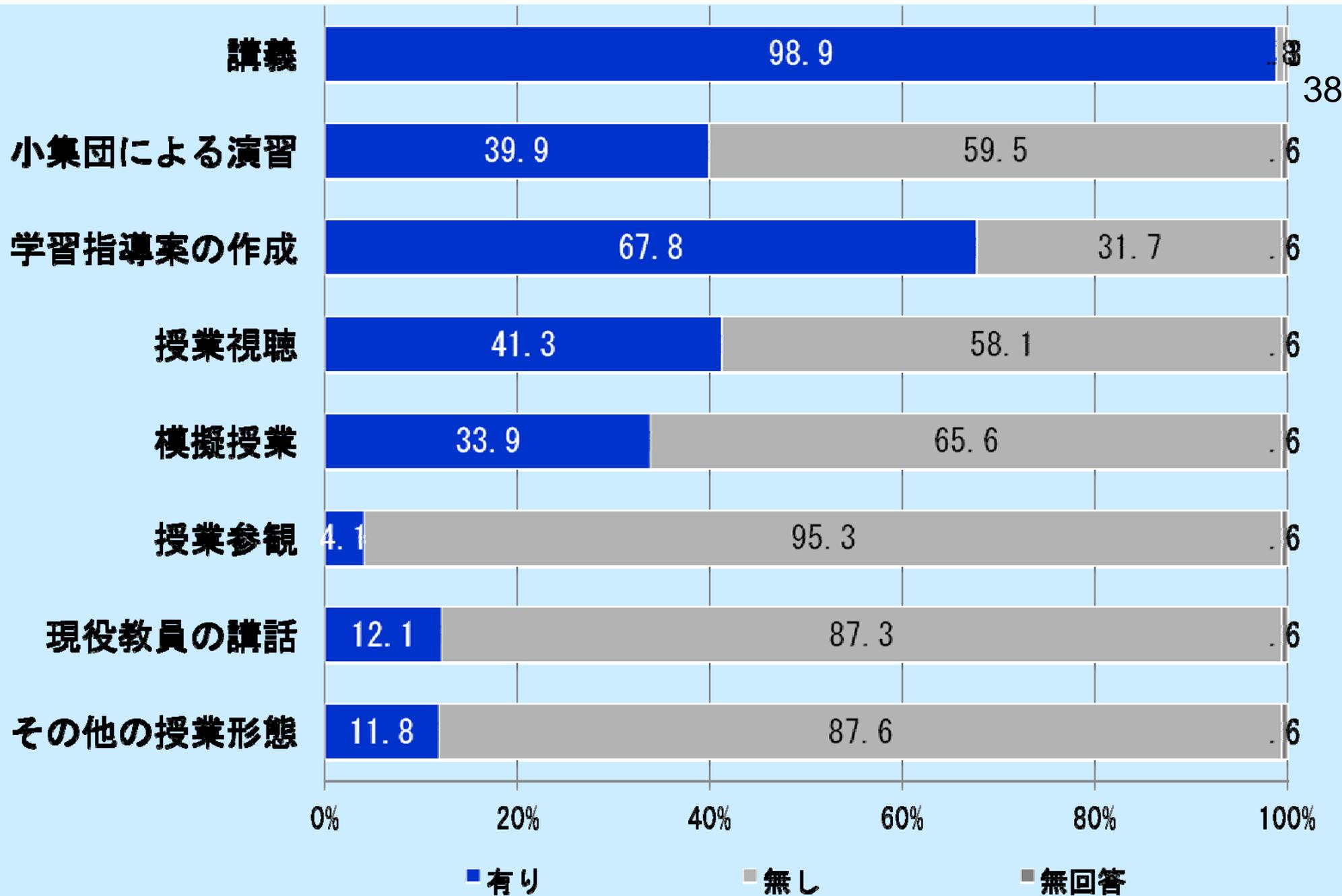


Figure9 : 授業形態

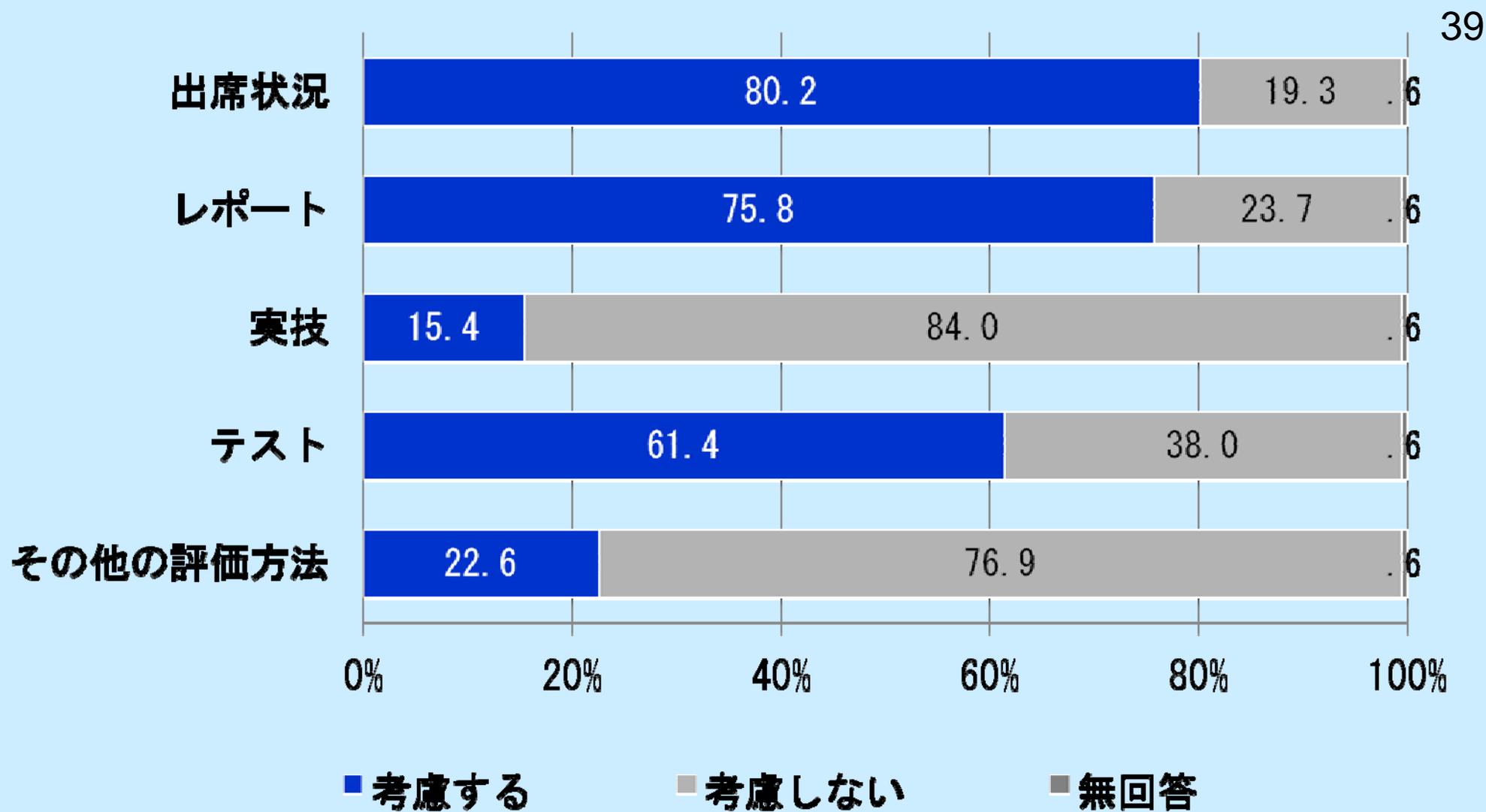


Figure10 : 評価方法

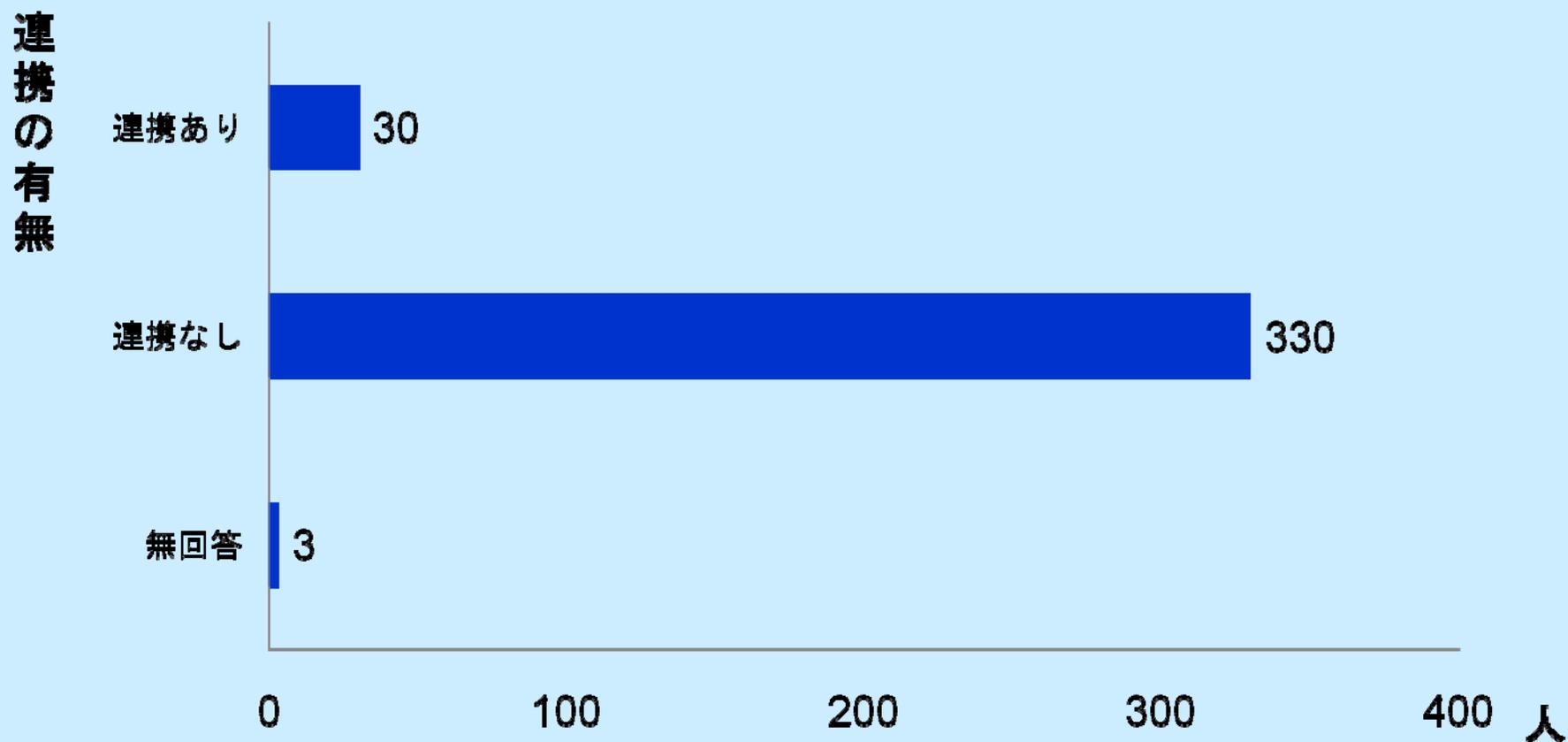


Figure11：講義に関する都道府県または区市町村教育委員会との連携

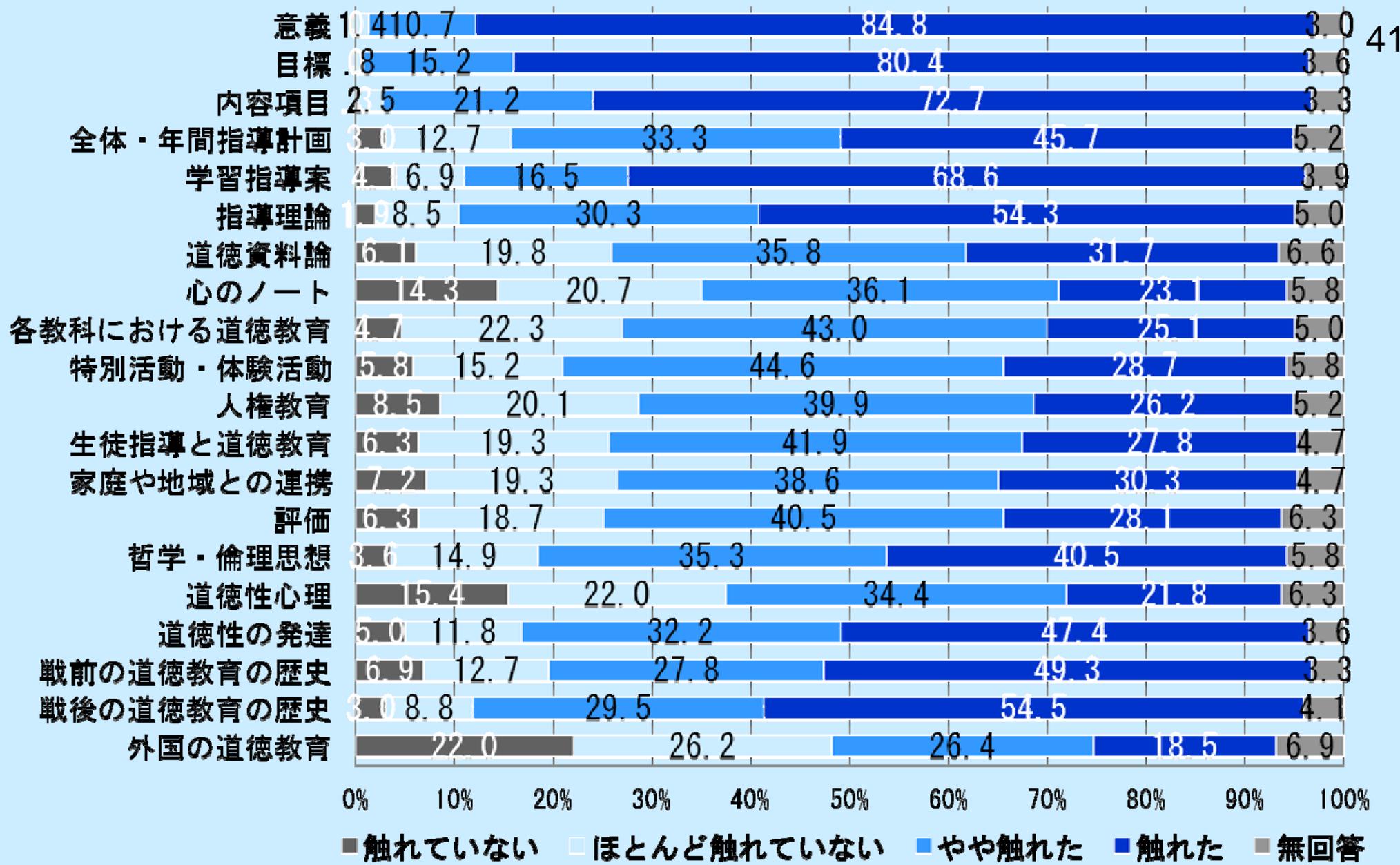


Figure12：道徳の授業内容20項目に関して講義中に触れた程度

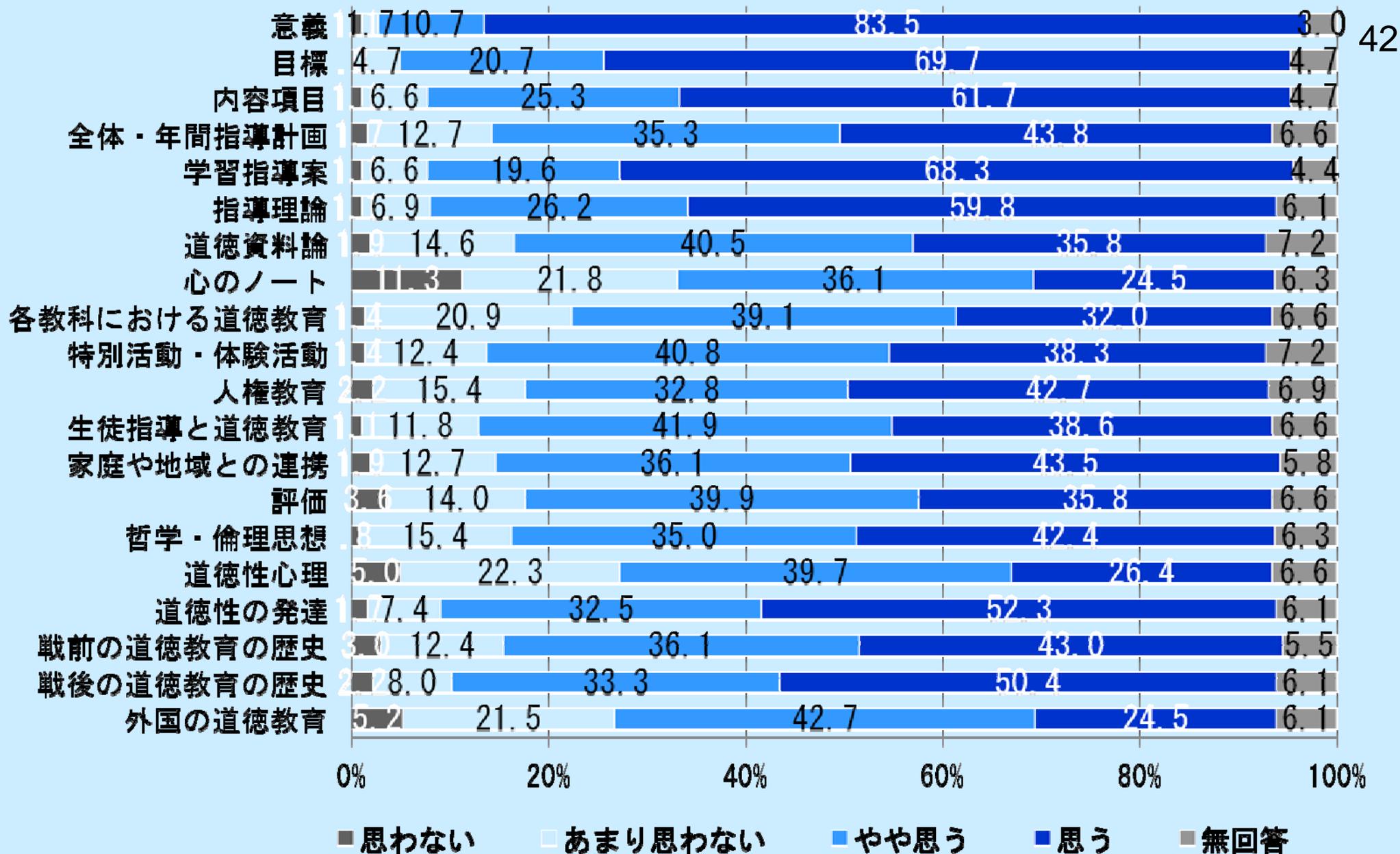


Figure13：道德の20項目に関して講義中に時間をかけたい程度

カテゴリ ポイントの結合プロット

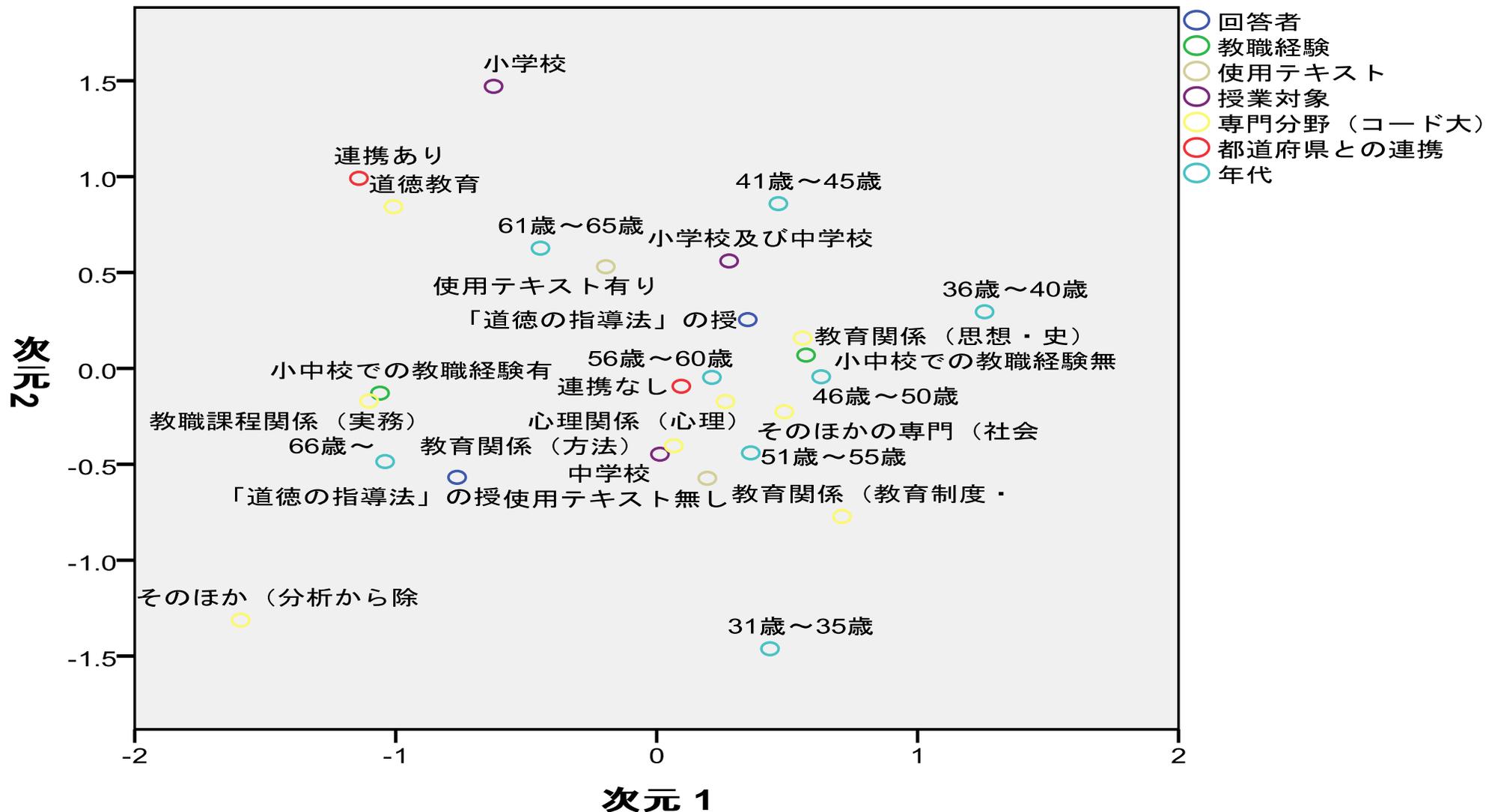


Figure14 : 年代、専門、講義対象、使用テキスト、小中での教職経験、他の機関との連携の関係

調査3：

「**道徳の指導法**」にあたる科目を担当する大学教員の意識調査

目的

当該科目を担当する教員の科目に対する意識を明らかにする。

方法

調査対象と調査手続き

調査2と同様

分析に用いた調査項目

調査協力者に関する調査項目 (調査2と同様)

- ・ 属性
- ・ 年齢層
- ・ 専門分野
- ・ 小・中学校での教職経験の有無

当該科目の講義に関する調査項目 (調査2と同様)

- ・ 対象とする課程
- ・ 実施時期
- ・ テキストおよび教材
- ・ 授業形態
- ・ 講義中に触れた内容
- ・ 成績評価方法
- ・ 都道府県または区市町村教育委員会との連携
- ・ 今後講義中に触れたい内容

自由記述

質問1：当該授業を実施するにあたり、工夫していることは何ですか

質問2：当該科目を実施する上での課題はありますか

質問3：「**道徳の指導法**」という科目について自由にお考えをお聞かせください

コード化

自由記述：項目別にカテゴリー分類

（統計ソフト；茶さんの形態素分析）。

各々、順に、8、12、11カテゴリーが得られた。

コード化

道徳の授業内容20項目（調査2と同様）

意義、目標、内容項目

全体・年間指導計画、学習指導案、指導理論
道徳資料論、心のノート、各教科における道徳
特別活動・体験活動、人権教育、生徒指導と道徳教育
家庭・地域との連携、評価、哲学・倫理思想
道徳性心理学、道徳性の発達、戦前の道徳教育の歴史
戦後の道徳教育の歴史、外国の道徳教育

「講義中に触れた内容」：「**現実**」

「今後、講義中に触れたい内容」：「**希望**」

得点化；道徳の内容項目20項目について

講義中に触れた程度

- ・触れていない 0点
- ・ほとんど触れていない 1点
- ・やや触れた 2点
- ・触れた 3点

今後講義中に触れたい程度

- ・思わない 0点
- ・あまり思わない 1点
- ・やや思う 2点
- ・思う 3点

結果

Table1 : 「当該授業を実施するにあたり、工夫していることは何ですか」についてのカテゴリ - 分類と人数

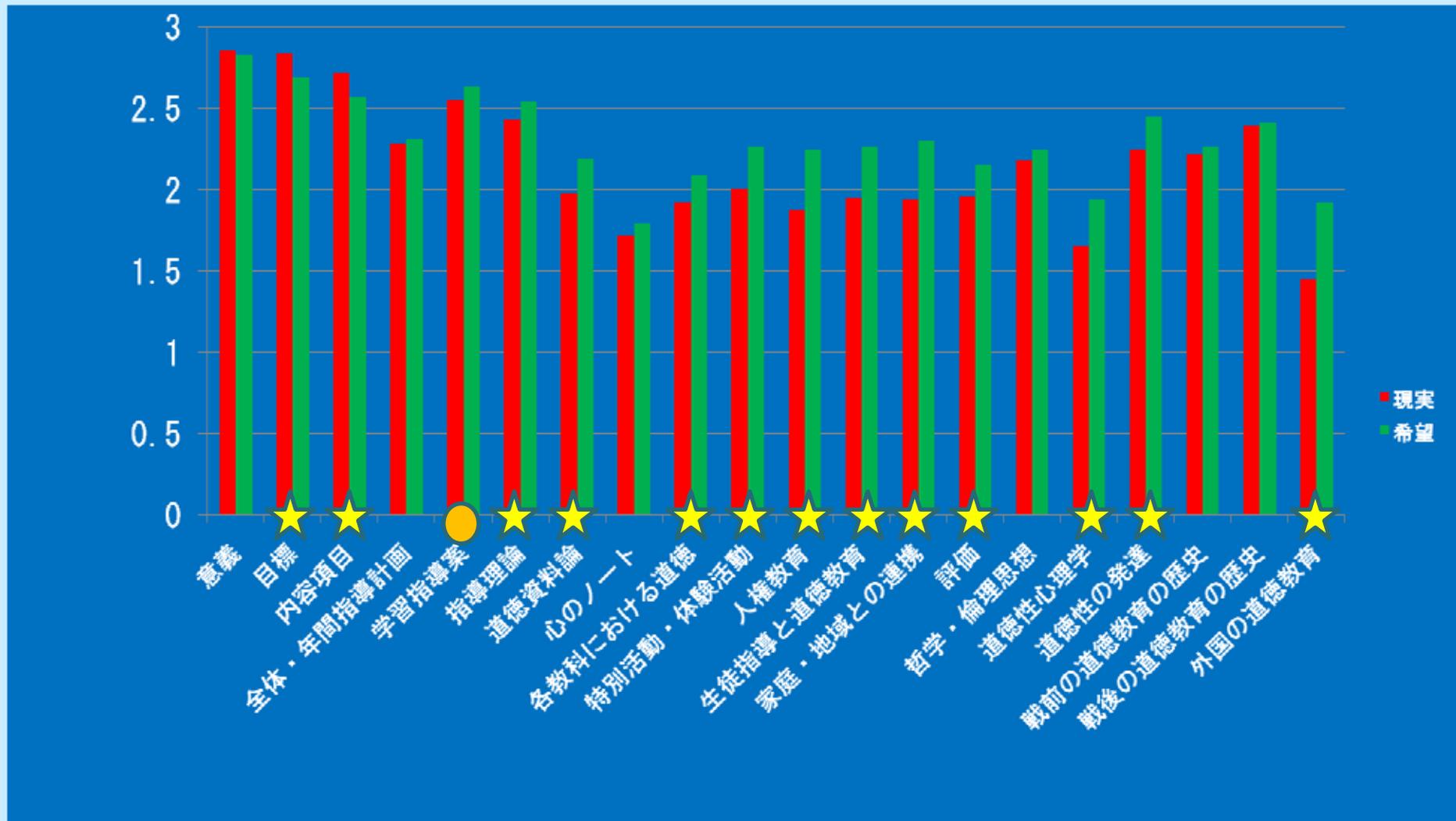
カテゴリ	含まれる内容	n	%
授業の教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚教材(ビデオ, DVDなど)の利用 ・ 自作講義ノートの使用 ・ テキストの選択 	71	20.1
模擬授業・学習指導案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業の実施 ・ 実践的指導力の育成 ・ 資料分析 	65	18.4
授業に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員自身の授業を進める際の思いや方針 	50	14.1
学生の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク 	47	13.3
学生への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の自覚を促す指導 	43	12.1
授業の進行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の進行方法の工夫(板書, 質問, 机間指導など) ・ 指導技術 	33	9.3
学生と教員のやり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物へのコメント ・ レポートの提出 	24	6.8
教員の道徳に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳という内容についての考え方 	17	4.8

Table2：「当該科目を実施する上での課題はありますか」についてのカテゴリ - 分類と人数

カテゴリ	含まれる内容	n	%
講義規模	・受講者数が多い	51	18.7
授業時間数	・時間数が少ない	43	15.8
教員の考え	・道徳に関する考え(前問と類似) ・授業に取り組む構え	38	13.9
学生の意欲・態度	・意欲，モチベーションを高める ・関心の低さ	27	9.9
授業構成・内容と方法	・模擬授業，学習指導案，ディスカッション	24	8.8
経験の不十分さ	・道徳授業を受けた経験の少なさ ・学生の道徳授業の記憶の薄さ	23	8.4
学生の能力	・理解力	15	5.5
授業運営	・シラバスの記載 ・他教科との連携	13	4.8
現場との連携	・時間的に現場の見学ができない ・教員を講話に招へいするのが困難	13	4.8
社会的背景や行政	・現代社会の課題 ・価値観の多様化	11	4.0
授業の教材	・教材や資料の不足	10	3.7

Table3：「「**道徳の指導法**」という科目について自由にお考えをお聞かせください」についてのカテゴリ - 分類と人数

カテゴリ	含まれる内容	<i>n</i>	%
科目の名称や内容への意見	・ 指導法強調への不満 ・ 倫理の重視	42	19.8
道徳教育に対する意見	・ 領域としての道徳に対する不満 ・ 学校の道徳授業への意見	31	14.3
指導法の内容の重視	・ 指導法の内容に対する工夫，提言 ・ 「指導法」軽視への不満	25	11.5
科目の重要性	・ 道徳教育の重要性 ・ 授業の拡充	23	10.6
教員の考え	・ 道徳に対する考え(前問1，2と類似)	21	9.7
時間数	・ 時間数の少なさ	20	9.2
授業力育成	・ 実践力や指導力の育成	15	6.9
経験の不十分さ	・ 小中学校時の道徳の問題	8	3.7
教材	・ 指導事例	7	3.2
人数	・ 受講者の多さ	4	1.8
押しつけ	・ 子どもへの押しつけ	3	1.4

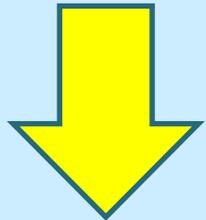


★ $p < .01$ ● $p < .05$

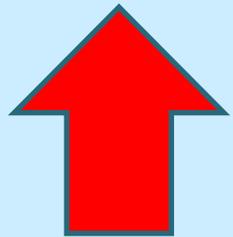
Figure1 : 道德の授業内容に関して触れた（現実） / 触れたい（希望）程度に関する対応のある t 検定の結果

Figure1のまとめ 現実・希望

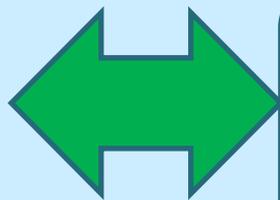
55



目標、内容項目



学習指導案、指導理論、道徳指導論、
各教科における道徳、特別活動・体験活動、
人権教育、生徒指導と道徳教育、家庭・地域と
の連携、評価、道徳性心理学、道徳性の発達、
外国の道徳教育



意義、全体・年間指導計画、心のノート、
哲学・倫理思想、戦前・戦後の道徳教育の歴史

Table4 : 年齢と道徳の授業内容20項目との相関

授業内容項目	相関係数	<i>n</i>
意義	.22**	351
目標	.05	349
内容項目	.04	350
全体・年間指導計画	.04	343
学習指導案	.03	348
指導理論	.05	344
道徳資料論	.11*	338
心のノート	-.10	341
各教科における道徳	.08	344
特別活動・体験活動	.20**	341
人権教育	.25**	343
生徒指導と道徳教育	.35**	345
家庭・地域との連携	.24**	345
評価	.06	339
哲学・倫理思想	-.13*	341
道徳性心理学	-.10	339
道徳性の発達	.09	349
戦前の道徳教育の歴史	-.10	350
戦後の道徳教育の歴史	-.10	347
外国の道徳教育	.02	337

***p* < .01 **p* < .05

まとめ

本調査（HP概要版）では、教職科目「**道德の指導法**」に関する調査について、

- ・調査1 大学での設置状況
- ・調査2 教員の講義実態
- ・調査3 講義担当教員の意識調査

について掲載しています。

さらに、詳細についてお知りになりたい場合には、本調査の結果報告書をご覧ください。